第37回
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

The 37th Annual Meeting of the Japan Society of Immunology & Allergology in Otolaryngology

プログラム・抄録集

会期　2019年 2月7日(木)▶9日(土)

会場　ホテル阪神
〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目6－16

会長　河田 了
大阪医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

【禁忌】(次の患者には投与しないこと) 本剤の成分に対し過敏症のある患者

【効能・効果】
アレルギー性鼻炎
蕁麻疹
皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒

【用法・用量】
通常、12歳以上の小児及び成人にはルパタジンとして1回10mgを1日1回経口投与する。
なお、症状に応じて、ルパタジンとして1回20mgに増量できる。

【使用上の注意】
1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
(1) 肝障害のある患者[本剤は主に肝臓で代謝されるため、肝障害のある患者では血中濃度が上昇するおそれがある。]
(2) 腎障害のある患者[活性代謝物であるデスロラタジンの血漿中濃度が上昇するおそれがある。]
(3) 高齢者[「高齢者への投与」及び【薬物動態】の項参照]
2. 重要な基本的注意
(1) 本剤を季節性の患者に投与する場合は、好発季節を考えて、その直前から投与を開始し、好発季節終了時まで続けることが望ましい。
(2) 本剤の使用により効果が認められない場合には、漫然と長期にわたり投与しないように注意すること。
(3) 眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう十分注意すること。
3. 相互作用
本剤は、主として肝代謝酵素CYP3A4で代謝される。
併用注意(併用に注意すること)
CYP3A4阻害剤(エリスロマイシン、ケトコナゾール等)、グレープフルーツジュース、アルコール
4. 副作用
国内臨床試験において1059例中、副作用(臨床検査値の異常変動を含む)の発現例は135例(発現率12.7%)で、158件であった。主な副作用は眠気98例(9.3%)、口渇7例(0.7%)、倦怠感6例(0.6%)、ALT(GPT)上昇5例(0.5%)、AST(GOT)上昇5例(0.5%)、尿糖4例(0.4%)、尿蛋白4例(0.4%)等であった。(承認時)
(1) 重大な副作用
1) ショック、アナフィラキシー(頻度不明注)):ショック、アナフィラキシーを起こすことがあるので、チアノーゼ、呼吸困難、血圧低下、血管浮腫等があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
2) てんかん(頻度不明注)):てんかんの既往のある患者で本剤投与後に発作があらわれることがあるので、使用に際しては十分な問診を行うこと。
3) 痙攣(頻度不明注)):痙攣があらわれることがあるので、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
4) 肝機能障害、黄疸(頻度不明注)):AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTP、Al-P、LDH、ビリルビン等の著しい上昇を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
注) 海外のみで認められている副作用のため頻度不明。

【承認条件】
医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

●その他の使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。
●禁忌を含む使用上の注意の改訂に十分ご留意ください。

2018.12.1～
投薬期間
制限解除

アレルギー性疾患治療剤
薬価基準収載
ルパフィン®錠10mg
RUPAFIN® Tablets 10mg (ルパタジンフマル酸塩錠)
処方箋医薬品 (注意－医師等の処方箋により使用すること)

販売(資料請求先)
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10

製造販売元
帝國製薬株式会社
香川県東かがわ市三本松567番地

2018年11月作成

第37回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

プログラム・抄録集

会　期：2019年2月7日（木）～2月9日（土）

主　催：大阪医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

会　長　河田　了

会　場：ホテル阪神

〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目6-16

TEL：06-6344-1661

会長ご挨拶

第37回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会
会長　河田　了
（大阪医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室）

第37回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会総会ならびに学術講演会を平成31年2月7日（木）～9日（土）に大阪市のホテル阪神にて開催させていただきます。日本耳鼻咽喉科学会の分科会のなかで最も活発な学会の一つである本学会を主催させていただくことに対して，本学会の理事長をはじめとする役員各位および会員の皆様に心より御礼申し上げます。また伝統ある本学会の会長を務めさせていただくことに，責任の重さを痛感しております。

さて本学会は日本耳鼻咽喉科学会の分科会のなかで，最も基礎研究を重視した学会です。名称は「免疫・アレルギー」ですが，最近の演題を見ると腫瘍から炎症まで，幅広い基礎研究分野を含んでいます。大学院生を中心とした主に若い世代の先生によって基礎研究が行われていることが多いですから，本学会も若いエネルギーがみなぎっています。「過去」基礎研究に打ち込んできた「年配」の先生も研究に没頭した日々に一時タイムスリップできるという特典もあります。

ところで，本邦における基礎研究離れが気になります。初期臨床研修の必須化からさらに今回新しい専門医制度が開始されることになって，基礎研究の開始時期が遅くなることが危惧されます。加えて，初期臨床研修での大学離れの結果，基礎研究に興味をもつ可能性のある最初の2年間を失っています。そのような状況の中でも，臨床家における基礎研究の価値や重要性については異論のないものと確信しています。実験手技がますます高度化し，内容も細分化されているなか，臨床家である耳鼻咽喉科医がどのような目的で，どのような立ち位置で基礎研究を推進していくかを考える必要性に迫られていますが，臨床家における基礎研究がなくなることはないし，なくしては決してならないと考えます。臨床の少しばかりの疑問から発展する研究は少なくなく，それは臨床家でなければできない事柄であると思います。

先生方のお陰で100を超える一般演題をいただきました。厚く御礼申し上げます。特別講演は河本宏先生（京都大学ウイルス・再生医科学研究所），教育講演は海老澤元宏先生（国立病院機構相模原病院）にお願いしました。またBasic & Clinical Conferenceと称して，それぞれの分野における基礎と臨床のトップランナーの研究者に講演いただいたあと会場の先生も含めてConferenceをするという企画を立てました。その他，シンポジウム，各種セミナー，専門医共通講習などを盛り込みました。

本学会では実際研究中の先生，それを指導している先生，さらには「元」研究者，多くの方々が積極的に参加され，議論を盛り上げていただきたいと思います。

大阪は「北」も「南」も随分様変わりしました。我々の専門分野である「感覚器」を駆使して楽しんでいただきたいと存じます。皆様のお越しを心からお待ちしております。

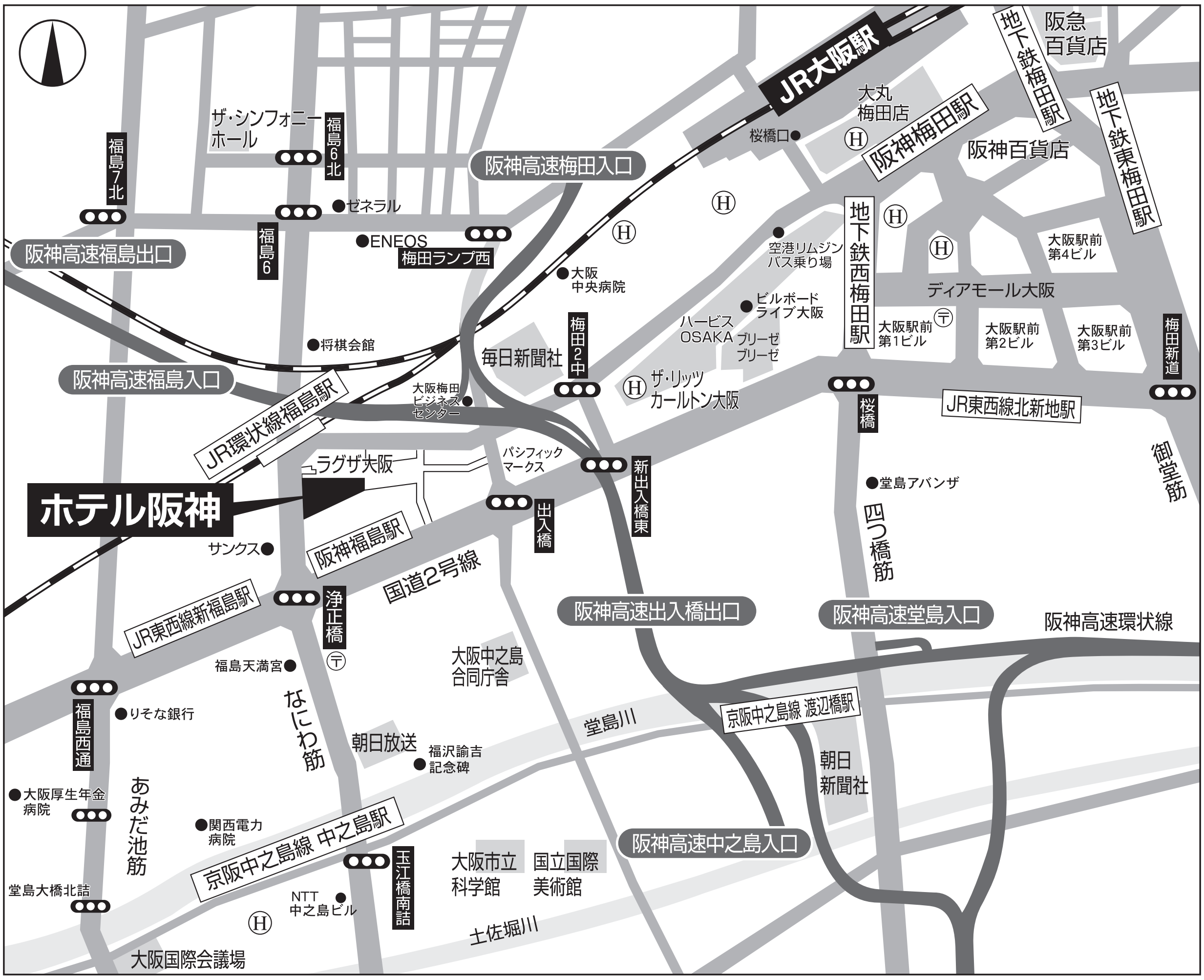
交通のご案内

空港からタクシーをご利用の場合

- 関西国際空港 → タクシーで 約50~60分 約18,000円 → ホテル阪神
- 大阪伊丹空港 → タクシーで 約20~30分 約6,000円 → ホテル阪神

電車をご利用の場合

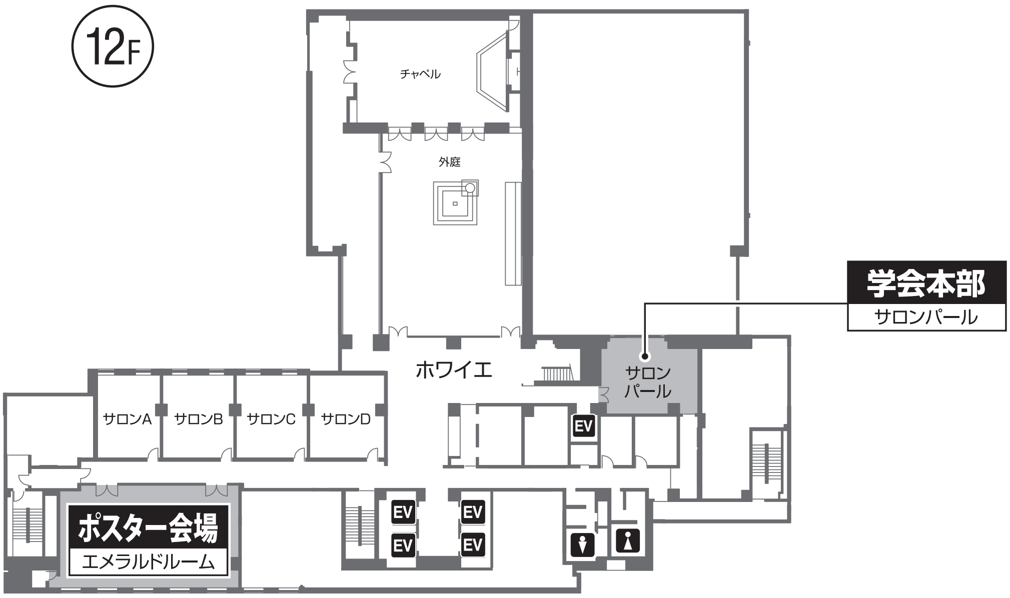
- JR環状線 大阪駅（内回り・福島方面）→ 1駅 → JR環状線 福島駅 → 下車すぐ
- 阪神 梅田駅 → 1駅 → 阪神本線 福島駅（西出口②）→ 下車すぐ
- JR東西線 北新地駅 → 1駅 → JR東西線 新福島駅（出口①）→ 下車すぐ
- JR京都線 新大阪駅（東海道線（JR京都線）大阪方面 15･16番線）→ 1駅 → JR環状線 大阪駅（内回り・福島方面）→ 1駅 → JR環状線 福島駅 → 下車すぐ
- 京阪中之島線 中之島駅（⑥出口から）→ 徒歩10分

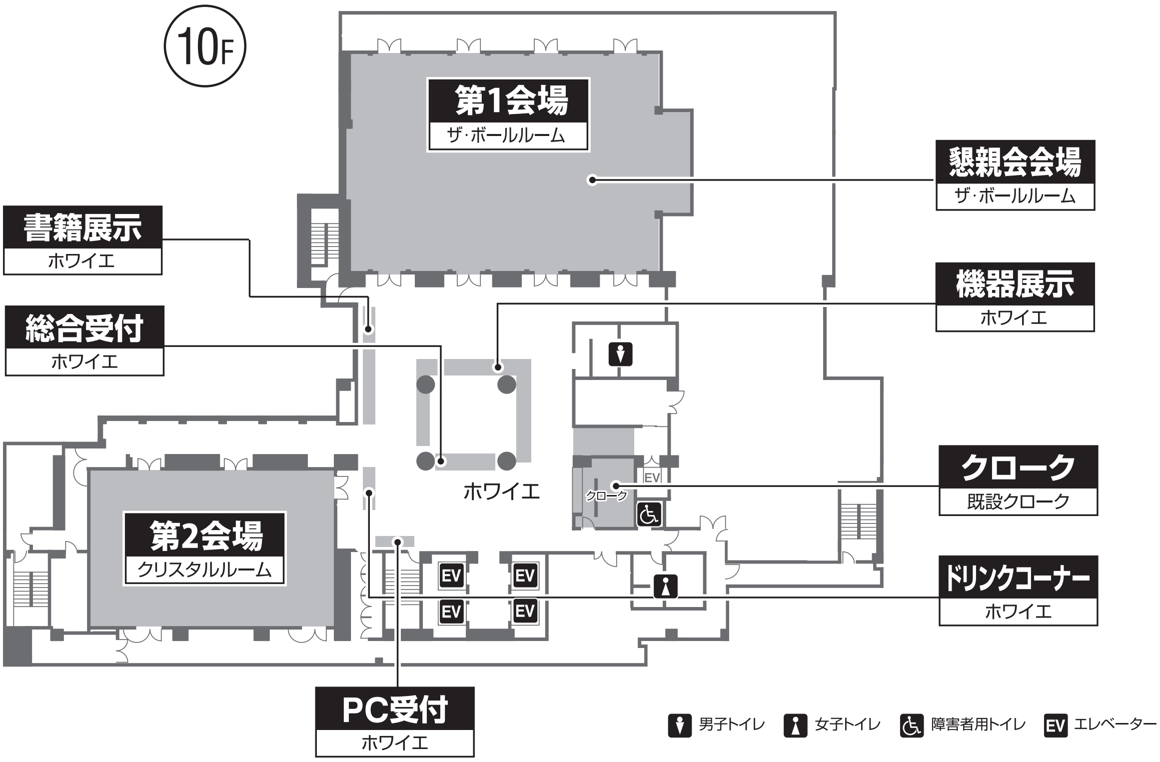


ホテル阪神 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島5-6-16 TEL：06-6344-1661

会場のご案内

ホテル阪神			
第1会場	10F ザ･ボールルーム	懇親会	10F ザ･ボールルーム
第2会場	10F クリスタルルーム	総合受付	10F ホワイエ
ポスター会場	12F エメラルドルーム	PC受付	10F ホワイエ
機器展示 書籍展示	10F ホワイエ	クローク	10F 既設クローク
ドリンクコーナー	10F ホワイエ	学会本部	12F サロンパール





学会開催のご案内

第37回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会
会期：2019年2月7日（木）～2月9日（土）
会場：ホテル阪神
　　　〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目6-16
　　　TEL：06-6344-1661
担当：大阪医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室
　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　河田　了

I. 参加受付

場　所：総合受付 ホテル阪神　10階ホワイエ
時　間：2月7日（木） 9:30 ～ 19:00
　　　　2月8日（金） 7:15 ～ 19:30
　　　　2月9日（土） 7:45 ～ 13:30
参加費：12,000円
　　　　なお，医学部学生，初期臨床研修医の参加費は無料です。
　　　　総合受付で学生証等，身分の証明できるものをご呈示ください。
抄録集：会員の方は，抄録集をご持参ください。
　　　　なお抄録集は総合受付にて2,000円で販売しています。

II. 学会参加登録と専門医講習受講登録

1. 登録システム

2019年より学会参加登録と専門医講習受講登録に会員情報新システムが導入されました。2018年11月末に全日耳鼻会員に郵送されました「日本耳鼻咽喉科学会会員カード（ICカード）」を持参してください。「日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医証（旧カード）」は使用できません。これらの登録は専門医が対象です。

ICカード

○

旧カード

×

1）「ICカード」による登録が必要な時
① 学会参加登録：学会会場に来場時。
② 専門医講習受講登録：耳鼻咽喉科専門医領域講習，専門医共通講習の受講の入退室時。
　なお，②にはまず①の登録が必要です。

2)「IC カード」の使用方法

カードリーダー上にカードを置くと，接続されたコンピュータ上に名前が表示されますので，コンピュータ画面を確認してからカードを取ってください。

3)「IC カード」を忘れた時

仮カードを発行（有料，デポジット制）しますので，総合受付までお越しください。

2. 学会参加登録

本学会への参加・登録によって 2 単位取得できます。

3. 専門医講習受講登録

本学術講演会では

・耳鼻咽喉科専門医領域講習を 2 セッション開催します
（1 セッション 1 単位，上限 2 単位まで取得可能）。

・専門医共通講習は 1 セッション開催します
（1 単位取得可能）。

※専門医講習受講前に必ず学会参加登録を済ませてください。

1）耳鼻咽喉科専門医領域講習

2 月 7 日（木）15:40 ～ 16:40　第 1 会場

特別講演：「再生医療とがん免疫療法の現状と問題点―再生 T 細胞を用いたがんの免疫細胞療法の開発―」

演者：河本　宏

2 月 8 日（金）15:25 ～ 16:25　第 1 会場

教育講演：「アナフィラキシー up to date」

演者：海老澤　元宏

2）専門医共通講習（倫理）

2 月 9 日（土）13:25 ～ 14:25　第 1 会場

共通講習：「人生の最終段階における意思決定　―Advance care planning―」

演者：月山　淑

III. 新入会・年度会費

新入会・会費納入等については下記事務局にご連絡ください。
なお，学会開催中も総合受付にて手続きが可能です。

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局
〒 113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11　KAZEN 第 2 ビル 6 階
中西印刷株式会社東京営業部内
TEL: 03-3816-0738　FAX: 03-3816-0766
E-mail: jiao@nacos.com

IV. インターネット

会期中，学会会場内にて Wi-Fi（ホテル館内の公衆無線 LAN）の使用は可能です。
利用される方は総合受付にてパスワードをお渡しいたします。

V. クローク

ホテル阪神　10 階にございます。なお，貴重品は各自でお持ちください。

VI. 機器展示・書籍販売・ドリンクコーナー

10 階にございます。

VII. 託児案内

会期中の託児所に関する申込方法や料金等の詳細はホームページをご覧ください。
http://jiao.umin.jp/37th/

VIII. 会員懇親会

会員懇親会を 2 月 8 日（金）19:30 より，第 1 会場にて開催いたします。
懇親会費は無料です。

IX. 禁止事項

1. 撮影・録音

講演者・座長の承諾を得ていない講演会場・ポスター会場でのカメラ・ビデオ・スマートフォン・携帯電話等による撮影および録音は禁止します。

2. 通話

会場内でのスマートフォン，携帯電話による通話は禁止します。会場内では電源をオフにするかマナーモードに設定してください。

X. 理事会・評議員会・総会

いずれもホテル阪神で開催します。

- 旧理事会　　　：2 月 7 日（木）　7:45 ～ 8:30　12 階　エメラルドルーム
- 新旧合同理事会：2 月 7 日（木）　8:30 ～ 9:00　12 階　エメラルドルーム
- 新理事会　　　：2 月 7 日（木）　9:00 ～ 9:45　12 階　エメラルドルーム
- 評議員会　　　：2 月 7 日（木）　9:45 ～ 10:25　10 階　クリスタルルーム
- 総会　　　　　：2 月 8 日（金）　13:10 ～ 13:40　10 階　ザ・ボールルーム

XI. お問合せ

第 37 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局

大阪医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

〒 569-8686　大阪府高槻市大学町 2-7

TEL: 072-684-6247　FAX: 072-684-6539

E-mail: jiao37th@osaka-med.ac.jp

運営事務局

株式会社 協同コンベンションサービス

〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 7-2-6 西新宿 K-1 ビル 4 階 403

FAX: 03-5386-6649

E-mail: info@kyodo-cs.com

学会中のお問合せ

ホテル阪神

TEL: 06-6344-1661（代表）

学会開催中事務局　内線：63768

演者の方へ

I. 発表資格

本学会会則により，演者は正会員に限ります。共同演者は正会員または臨時会員に限ります。
非会員の方は至急入会手続きをしてください。

II. 利益相反（COI）開示

全ての発表において，発表者全員の利益相反（COI）について自己申告によって開示をお願いいたします。開示方法の詳細およびテンプレートは第37回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会ホームページ（http://jiao.umin.jp/37th/）をご覧ください。

III.「記録集」原稿提出

記録集は「耳鼻咽喉科免疫アレルギー誌：37巻2号」に刊行する予定です。記録集の対象は，奨励賞・一般口演・ポスター発表です。2018年12月20日（木）から2019年2月28日（木）までにオンラインで登録をお願いいたします。
第37回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会ホームページ（http://jiao.umin.jp/37th/）の「記録集用投稿のお願い」にアクセスし,「原稿作成要領」を参照の上,「抄録ひな型」をご利用ください。原稿は登録画面よりアップロードしてご提出ください（提出はオンラインのみ)。なお，学会開催中の原稿の受付は行っておりません。

記録集についてのお問い合わせ先

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会編集事務局（担当：石田，澤田）
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入　中西印刷株式会社内
TEL: 075-441-3155　FAX: 075-417-2050
E-mail: jjiao-ed@nacos.com

IV. 発表時間

- 奨励賞（口演7分，質疑応答5分）
- 一般口演（口演7分，質疑応答3分）
- ポスター（口演4分，質疑応答3分）

V. 口演発表

1. スライド作成

- アプリケーションはWindows版PowerPoint 2003・2007・2010・2013・2016のいずれかで作成してください。
- スライドの画面サイズは4:3，XGA（1024×768）で作成してください。
- Windows標準フォントを使用してください
- データの容量を100 MB（総量）までとしてください。

- 動画データはPowerPointにインサートし，Windows Media Playerをご使用の場合のみ動画再生可能です。
- PowerPointデータ内に音声がある場合のみ，音声再生が可能です。

2. PC（データ）受付

発表の1時間前（早朝セッションは30分前）までにPC受付にお越しください。

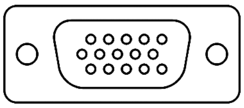
	USB	PC本体
Windows	○	○
Mac	×	○

1）USBメモリーによる受付

- 記録媒体はUSBメモリーのみの受付とします。
- ファイル名は，演題番号，発表者氏名（漢字）に拡張子（.ppt）をつけてください。（例：O-16免疫太郎.ppt）
- お預かりしたデータは発表後，事務局が確実に消去します。
- 不測の事態に備えて，必ずバックアップデータをお持ちください。

2）ノートPCによる受付

- ノートPCを持ち込みされる方も，PC受付が必要です。
- 持参されるPCでの外部ディスプレー出力が可能であることを必ずご確認ください。
- 外部出力端子はD-Sub-15pinです。接続できる変換コネクターが必要な場合は各自持参してください。



- バッテリー切れを防ぐために電源アダプターを持参してください。

3. 発表方法

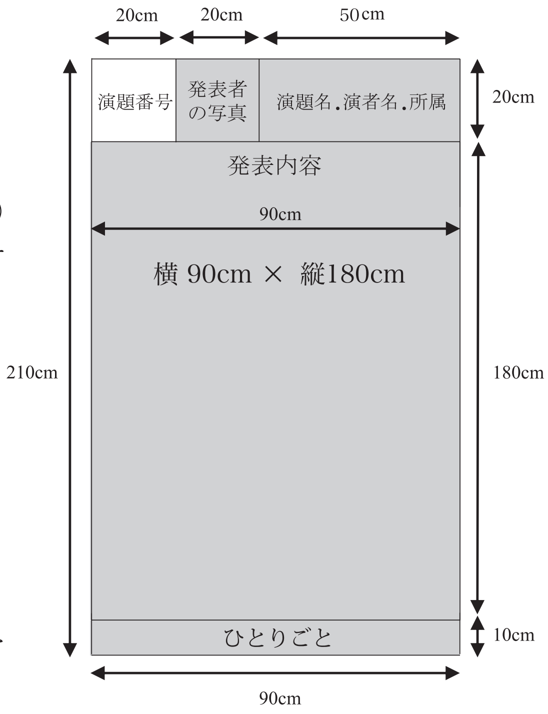
- 演台上に設置しているキーパッド，またはマウスを用いて操作してください。

VI. ポスター発表

1. ポスター作成について

1）ポスターパネルは右図の要領で準備します。
横90 cm×縦210 cm（発表内容 横90 cm×縦180 cm）

2）演題番号は，事務局でポスターパネルに表示しています。
演題番号が隠れないように
「発表者の写真：横20 cm×縦20 cm」
「演題名・演者名・所属：横50 cm×縦20 cm」
「発表内容：横90 cm×縦180 cm」
「ひとりごと：横90cm×縦10 cm」
をご用意ください。
ひとりごと欄は，「本発表に関わるコメント」をお願いします。



2. ポスター貼付と撤去ついて

1）ポスターは押しピンでしっかり留めてください。

押しピンは事務局で準備します。

2）ポスター貼付

2 月 7 日（木）11:00 ～ 16:00

3）ポスター撤去

2 月 9 日（土）12:00 ～ 13:00

撤去されなかったポスターは学会事務局にて処分します。

司会・座長の方へ

1）セッション開始20分前に各会場までお越しいただき，会場前方の「次座長席」にお座りください。
ポスター発表の座長の方はポスター会場前のある座長受付にお越しください。

2）タイムテーブルに従い定刻通りの進行をお願いいたします。

3）優れた演題は学会誌への投稿を依頼することになっております。座長席に推薦演題アンケート用紙を設置いたしますので必要事項をご記入の上，各会場担当者にお渡しください。

利益相反（COI）開示のご案内

開示対象

本学会で口頭発表およびポスター発表をする筆頭演者と共同演者，全ての利益相反（COI）状態について自己申告によって開示することとなりました。本学会における利益相反（COI）についての指針は，日本耳鼻咽喉科学会で定めております指針を準用しております。

・日本耳鼻咽喉科学会利益相反（COI）に関する指針・細則
http://www.jibika.or.jp/members/iinkaikara/about_coi.html

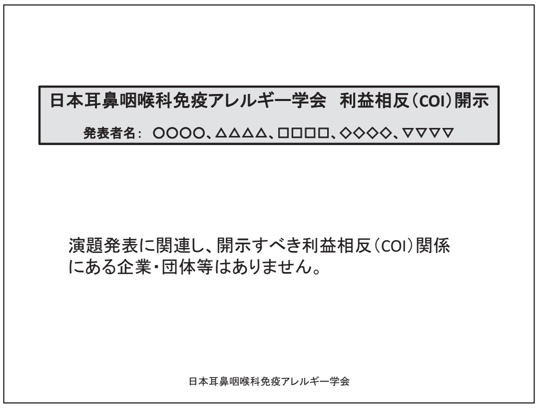
開示方法

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会の会員の皆様におかれましては，学術集会にて発表をされる際には，下記様式をダウンロードいただき，申告いただきますようお願い申し上げます。

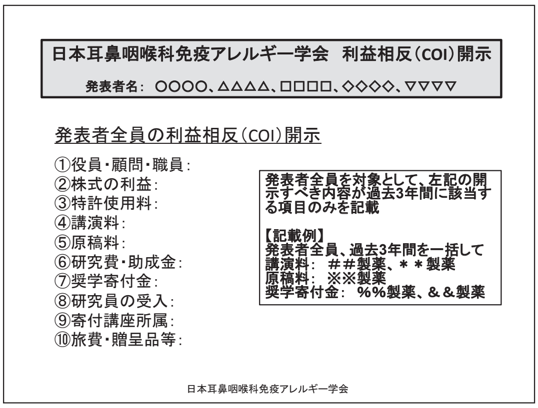
http://jiao.umin.jp/35.html

口頭・ポスター発表時における利益相反（COI）の開示例（pptx）

・開示事項なし（pptx）



・開示事項あり（pptx）



※本学会学会誌における利益相反（COI）については，投稿規定をご参照くださいますようお願い申し上げます。

・日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 投稿規定
http://jiao.umin.jp/32.html

利益相反の開示に関するお問い合わせ先

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-11　KAZEN 第2ビル6階
中西印刷株式会社東京営業部内
TEL: 03-3816-0738　FAX: 03-3816-0766
E-mail: jjiao@nacos.com

第 37 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表

1日目：平成31年2月7日（木）

第1会場 10階　ザ・ボールルーム	第2会場 10階　クリスタルルーム	ポスター会場 12階　エメラルドルーム
		旧理事会 (7:45～8:30)
		新旧合同理事会 (8:30～9:00)
		新理事会 (9:00～9:45)
	評議員会 (9:45～10:25)	
奥田稔先生を偲ぶ会 (10:25～10:45)		
開会式		
一般演題1：アレルギー基礎 (11:00～12:00) O-1～O-6 座長：保富宗城，白崎英明	**一般演題3：免疫療法** (11:00～12:00) O-13～O-18 座長：竹野幸夫，松岡伴和	**ポスター貼付** (11:00～16:00)
ランチョンセミナー1 (12:10～13:10) 「アレルギー性鼻炎の発症と病態に関わる背景因子について」 司会：黒野祐一　演者：近藤健二 共催：田辺三菱製薬株式会社	**ランチョンセミナー2** (12:10～13:10) 「好酸球性副鼻腔炎における包括的気道炎症制御と抗体治療薬の位置付け」 司会：内藤健晴　演者：朝子幹也 共催：グラクソ・スミスクライン株式会社	
一般演題2：腫瘍1 (13:15～14:15) O-7～O-12 座長：折舘伸彦，平野　滋	**一般演題4：上気道・自己免疫・その他** (13:15～14:25) O-19～O-25 座長：村上信五，武田憲昭	
	Basic & Clinical Conference 1 (14:30～15:30) 「頭頸部癌免疫療法」 司会：近松一朗　演者：塚原清彰，辻川敬裕	
特別講演［領域講習］ (15:40～16:40) 「再生医療とがん免疫療法の現状と問題点 ―再生T細胞を用いたがんの免疫細胞療法の開発―」 司会：藤枝重治　演者：河本　宏		**ポスター供覧** (16:00～18:35)
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会の近未来 ―学会統合と将来構想― (16:55～17:40) 司会：竹中　洋　演者：森山　寛，藤枝重治		
	イブニングセミナー1 (17:45～18:35) 「内視鏡下鼻副鼻腔手術の術前，術中，術後画像診断のポイント」 司会：田中康広　演者：中川隆之 共催：株式会社モリタ製作所	

第 37 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表

2日目：平成31年2月8日（金）

時刻	第1会場 10階　ザ・ボールルーム	第2会場 10階　クリスタルルーム	ポスター会場 12階　エメラルドルーム
7:00			
8:00	**モーニングセミナー** (7:30～8:20) 「花粉症治療　―第1世代から第2世代抗ヒスタミン薬へ―」 司会：増山敬祐　　演者：橋口一弘 共催：久光製薬株式会社		**ポスター供覧** (7:30～19:20)
9:00	**一般演題5：好酸球性副鼻腔炎** (8:25～9:25) O-26～O-31 座長：阪上雅史，春名眞一	**一般演題6：腫瘍2** (8:25～9:25) O-32～O-37 座長：猪原秀典，岩井　大	
10:00	**奨励賞応募演題1** (9:25～10:40) S-1～S-6 座長：池田勝久，松原　篤		
11:00	**奨励賞応募演題2** (10:40～11:55) S-7～S-12 座長：吉川　衛，太田伸男		
12:00	**ランチョンセミナー3** (12:05～13:05) 「耳鼻咽喉科外来における咳嗽患者の取り扱い」 司会：川内秀之　　演者：上條　篤 共催：大鵬薬品工業株式会社／Meiji Seikaファルマ株式会社	**ランチョンセミナー4** (12:05～13:05) 「ヒスタミンH_1受容体発現亢進機構と抗ヒスタミン薬の薬理作用」 司会：平川勝洋　　演者：北村嘉章 共催：杏林製薬株式会社	
13:00	**総会** (13:10～13:40)		
14:00 15:00	**シンポジウム** (13:40～15:10) 「アレルギー疾患における脂質メディエーター研究の新展開」 司会：清水猛史，岡野光博 シンポジスト：武富芳隆，戸嶋一郎，鈴木倫雄，齋藤秀和		
16:00	**教育講演［領域講習］** (15:25～16:25) 「アナフィラキシ―up to date」 司会：岡本美孝　　演者：海老澤元宏		
17:00		**Basic & Clinical Conference 2** (16:30～17:30) 「IgA腎症」 司会：原渕保明　　演者：高原　幹，堀田　修	
18:00		**Basic & Clinical Conference 3** (17:30～18:30) 「好酸球性副鼻腔炎」 司会：山田武千代　　演者：植木重治，坂下雅文	
19:00		**イブニングセミナー2**　(18:30～19:20) 「アレルギー性鼻炎患者に対する舌下免疫療法の実際と実践のコツ―小児患者を中心に―」 「アレルギー性気道炎症における抗原特異的なIL-33産生の機序」 司会：三輪高喜　　演者：川島佳代子，奈邉　健 共催：鳥居薬品株式会社	
20:00	**会員懇親会** (19:30～21:30)		

第 37 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表

3日目：平成31年2月9日（土）

	第1会場 10階　ザ・ボールルーム	第2会場 10階　クリスタルルーム	ポスター会場 12階　エメラルドルーム
7:00			
8:00		**Basic & Clinical Conference 4** (8:00～9:00) 「アレルギー性鼻炎に対する抗原特異的免疫療法」 司会：大久保公裕　演者：後藤　穣，神沼　修	**ポスター供覧** (8:00～10:00)
9:00		**Basic & Clinical Conference 5** (9:00～10:00) 「上咽頭癌」 司会：吉崎智一　演者：近藤　悟，徐　軼菲	
10:00	**一般演題7：鼻・副鼻腔粘膜** (10:00～11:00) O-38～O-43 座長：高林哲司，神前英明		**ポスター発表** (10:00～11:49) P-1～P-55
11:00	**一般演題8：好酸球性炎症・その他** (11:00～12:00) O-44～O-49 座長：室野重之，松根彰志		
12:00	**ランチョンセミナー5** (12:10～13:10) 「鼻アレルギーと咽喉頭症状―免疫療法と薬物療法の効果的な使い方」 司会：山下裕司　演者：阪本浩一 共催：サノフィ株式会社		**ポスター撤去** (12:00～13:00)
13:00	**専門医共通講習（倫理）** (13:25～14:25) 「人生の最終段階における意思決定 ～Advance care planning～」 司会：荻野　敏　演者：月山　淑		
14:00	**閉会式**		
15:00			
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			

ポスター発表　2月9日（土）10:00～11:49

ポスター会場	ポスター会場	ポスター会場	ポスター会場
ポスター1	ポスター3	ポスター5	ポスター7
鼻・副鼻腔	アレルギー性鼻炎	腫瘍	鼻アレルギー基礎
10:00～10:56 座長：飯野ゆき子，出島健司 P-1～P-8	10:00～10:56 座長：竹内裕美，兵　行義 P-16～P-23	10:00～10:49 座長：倉富勇一郎，本間明宏 P-30～P-36	10:00～10:49 座長：本田耕平，櫻井大樹 P-43～P-49

ポスター2	ポスター4	ポスター6	ポスター8
アレルギー・その他	舌下免疫療法	免疫・その他	自己免疫
11:00～11:49 座長：小林正佳，松延　毅 P-9～P-15	11:00～11:42 座長：安田　誠，米倉修二 P-24～P-29	11:00～11:42 座長：鈴木正志，竹内万彦 P-37～P-42	11:00～11:42 座長：原　浩貴，端山昌樹 P-50～P-55

第37回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

2月7日（木）　第1会場（10階　ザ・ボールルーム）

一般演題1：アレルギー基礎（11:00～12:00）

座長：保富宗城（和歌山県立医科大学），白崎英明（札幌医科大学）

O-1　プロテインキナーゼCδシグナルの抑制によるヒスタミンH_1受容体とIL-33遺伝子発現亢進の抑制効果

北村嘉章[1]，神村盛一郎[1]，水口博之[2]，福井裕行[3]，武田憲昭[1]
[1]徳島大学医学部　耳鼻咽喉科，[2]大阪大谷大学薬学部　薬理学，
[3]徳島大学大学院　分子難治性疾患学

O-2　血小板活性化因子（PAF）によるヒト気道上皮細胞からの分泌型ムチンの放出

白崎英明，才川悦子，菊池めぐみ
札幌医科大学医学部　耳鼻咽喉科

O-3　ステロイド抵抗性鼻アレルギーにおける11 beta-hydroxysteroid dehydrogenaseの発現様式

太田伸男[1]，東海林史[1]，松谷幸子[1]，角田梨紗子[1,3]，鈴木祐輔[2]，倉上和也[2]，鈴木立俊[4]，柴原義博[5]，鈴木直弘[5]，草野佑典[1]，佐竹雅史[1]，斎藤雄太郎[1]
[1]東北医科薬科大学　耳鼻咽喉科，[2]山形大学医学部　耳鼻咽喉頭頸部外科，
[3]奈良県立医科大学　感染症学，[4]北里大学医学部　耳鼻咽喉科，[5]仙台市

O-4　片側点鼻ブタクサ花粉症モデルにおける鼻粘膜およびリンパ組織におけるTfhとTh2細胞の動態

神前英明，松本晃治，菊岡弘高，清水猛史
滋賀医科大学医学部　耳鼻咽喉科

O-5　モデルマウスを用いた花粉-食物アレルギー症候群の基礎研究

加藤幸宣[1]，森川太洋[1]，大澤陽子[2]，意元義政[1]，高林哲司[1]，藤枝重治[1]
[1]福井大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，[2]福井赤十字病院　耳鼻咽喉科

O-6　ナローバンドUVB照射のHeLa細胞およびTDIアレルギー性鼻炎モデルラットのヒスタミンH_1受容体遺伝子発現亢進への影響

神村盛一郎[1]，北村嘉章[1]，藤井達也[2]，水口博之[3]，福井裕行[4]，武田憲昭[1]
[1]徳島大学大学院医歯薬学研究部　耳鼻咽喉科，[2]JA高知病院　耳鼻咽喉科，
[3]大阪大谷大学薬学部　薬理学，[4]徳島大学大学院医歯薬学研究部　分子難治性疾患学

ランチョンセミナー1（12:10～13:10）

司会：黒野祐一（鹿児島大学）

LS-1　アレルギー性鼻炎の発症と病態に関わる背景因子について

近藤健二
東京大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

共催：田辺三菱製薬株式会社

一般演題2：腫瘍1（13:15～14:15）

座長：折舘伸彦（横浜市立大学），平野　滋（京都府立医科大学）

O-7　Cancer Immunity Cycleと化学療法～STING活性化療法との併用～

原渕翔平[1,3]，大原賢三[1,3]，野崎　結[1,3]，熊井琢美[2]，長門利純[1,3]，林　達哉[2]，小林博也[3]，原渕保明[1]
[1]旭川医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，
[2]旭川医科大学　頭頸部癌先端的診断・治療学，
[3]旭川医科大学　病理学講座免疫病理分野

O-8　頭頸部癌におけるS100A7の役割についての考察

大和田築[1,2]，垣内晃人[1,2]，角木拓也[1]，黒瀬　誠[1]，近藤　敦[1]，小幡和史[1]，野村一顕[1]，宮田　遼[1]，金子躍人[1]，小島　隆[2]，高野賢一[1]
[1]札幌医科大学医学部　耳鼻咽喉科，
[2]札幌医科大学医学部　フロンティア医学研究所細胞科

O-9　頭頸部癌でのPDXモデルの確立と応用

牧田春菜，吉崎智一
金沢大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-10　頭頸部扁平上皮癌の腫瘍マーカーとしての血清miR-21の検討

石永　一[1]，何　　峰[2]，中村　哲[1]，坂井田寛[1]，村田真理子[2]，竹内万彦[1]
[1]三重大学大学院医学系研究科　耳鼻咽喉・頭頸部外科，
[2]三重大学大学院医学系研究科　環境分子医学

O-11　メソテリン特異的CART細胞と活性化NKT細胞を併用したがん免疫細胞療法の有効性に関する前臨床研究

國井直樹，伊原史英，松島可奈，飯沼智久，米倉修二，茶薗英明，櫻井大樹，花澤豊行，岡本美孝
千葉大学大学院医学研究院　耳鼻咽喉頭頸部腫瘍学

O-12　単純ヘルペスウイルスHF10の転移性腫瘍への抗腫瘍効果

江崎伸一[1,2]，五島　典[2]，尾崎慎哉[1]，中村善久[1]，村上信五[1]
[1]名古屋市立大学大学院医学系研究科　耳鼻咽喉頭頸部外科，
[2]名古屋大学大学院医学研究科　ウイルス学

特別講演（15:40 ～ 16:40）[領域講習]

司会：藤枝重治（福井大学）

SL　再生医療とがん免疫療法の現状と問題点―再生T細胞を用いたがんの免疫細胞療法の開発―

河本　宏
京都大学ウイルス・再生医科学研究所　再生免疫学

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会の近未来 ―学会統合と将来構想―（16:55 ～ 17:40）

司会：竹中　洋（京都府立医科大学　学長）

森山　寛
日本耳鼻咽喉科学会　理事長

藤枝重治
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会　理事長

2月7日（木）　第2会場（10階　クリスタルルーム）

一般演題3：免疫療法（11:00 ～ 12:00）

座長：竹野幸夫（広島大学），松岡伴和（山梨大学）

O-13　アレルゲン免疫療法におけるアレルギー患者血清中抗体価比（t-IgE/s-IgE）の有用性

松岡伴和[1]，秦　宏興[2]，土井雅津代[2]，増山敬祐[1]
[1]山梨大学医学部　耳鼻咽喉科，[2]鳥居薬品株式会社

O-14　スギ舌下免疫療法におけるスギ反応性Th2細胞の解析

櫻井大樹，伊原史英，飯沼智久，米倉修二，岡本美孝
千葉大学大学院医学研究院　耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

O-15　スギおよびダニに対する連続舌下免疫治療

塩野　理[1]，折舘伸彦[2]，三保　仁[3]
[1]横浜労災病院　耳鼻咽喉科，[2]横浜市立大学付属病院　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，
[3]三保耳鼻咽喉科

O-16　スギ舌下免疫療法3シーズン目の臨床効果　皮下免疫療法との比較

佐竹雅史[1]，湯田厚司[2]，鈴木直弘[3]，柴原義博[3]，稲村直樹[3]，鈴木祐輔[4]，東海林史[1]，
草野佑典[1]，斎藤雄太郎[1]，太田伸男[1]，岡本美孝[5]
[1]東北医科薬科大学病院　耳鼻咽喉科，[2]津市，[3]仙台市，
[4]山形大学医学部　耳鼻咽喉頭頸部外科，
[5]千葉大学大学院医学研究院　耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

O-17　舌下免疫療法の効果と唾液マイクロバイオーム

岡野光博[1,2]，湯田厚司[3]，小川由起子[3]，春名威範[2]，檜垣貴哉[2]，假谷　伸[3]，
木戸口正典[4]，藤枝重治[4]，岡　愛子[2,5]，西﨑和則[2]
[1]国際医療福祉大学医学部　耳鼻咽喉科，
[2]岡山大学大学院医歯薬学総合研究科　耳鼻咽喉・頭頸部外科，[3]ゆたクリニック，
[4]福井大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，[5]四国がんセンター　頭頸科

O-18　結合化ホスホリルコリン重合体の粘膜アジュバント効果

地村友宏，川畠雅樹，永野広海，大堀純一郎，黒野祐一
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

ランチョンセミナー2（12:10 ～ 13:10）

司会：内藤健晴（藤田医科大学）

LS-2　好酸球性副鼻腔炎における包括的気道炎症制御と抗体治療薬の位置付け

朝子幹也[1,2,3]，小林良樹[3,4]，岩井　大[4]
[1]関西医科大学総合医医療センター　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，
[2]関西医科大学総合医医療センター　アレルギーセンター，
[3]関西医科大学附属病院　アレルギーセンター，
[4]関西医科大学附属病院　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

一般演題4：上気道・自己免疫・その他（13:15 ～ 14:25）

座長：村上信五（名古屋市立大学），武田憲昭（徳島大学）

O-19　粒子状物質（Particulate matter; PM）構成成分による生体反応の相違
―サイクロン法で採取した国内3地域での検討―

大西俊範，安田　誠，平野　滋
京都府立医科大学　耳鼻咽喉科

O-20　好酸球性上気道炎症におけるIL-22およびIL-22受容体発現の制御作用についての解析

檜垣貴哉[1]，岡野光博[2]，野田実里[1]，春名威範[3]，假谷　伸[1]，西﨑和則[1]
[1]岡山大学大学院医歯薬学総合研究科　耳鼻咽喉・頭頸部外科，
[2]国際医療福祉大学医学部　耳鼻咽喉科，[3]姫路赤十字病院　耳鼻咽喉科

O-21　吸入ステロイド薬吸入時においての舌の位置による咽頭後壁面積の検討

木村文美[1]，中田誠一[1]，堀口高彦[2]
[1]藤田医科大学ばんたね病院　耳鼻咽喉科，[2]藤田医科大学医学部　呼吸器内科学2講座

O-22　軽症のIgA腎症に対する口蓋扁桃摘出術の有用性

齋藤雄太郎[1,2]，東海林史[1]，太田伸男[1]
[1]東北医科薬科大学，[2]東北大学

O-23　病理組織学的にIgG4-RDが疑われた悪性疾患の2例

矢島諒人，亀倉隆太，高野賢一
札幌医科大学医学部　耳鼻咽喉科

O-24　唾液腺管内視鏡を使用して診断・治療を行った線維素性唾液管炎症例

松延　毅，鈴木宏隆，大久保公裕
日本医科大学　耳鼻咽喉科

O-25　モデルマウスを用いた$CD4^{+}$Tリンパ球分画接種による老人性難聴予防

岩井　大[1]，神田　晃[1]，朝子幹也[2]，濱田聡子[3]，小林良樹[1]
[1]関西医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，[2]関西医科大学医療センター，
[3]関西医科大学附属香里病院

Basic & Clinical Conference 1「頭頸部癌免疫療法」（14:30 ～ 15:30）

司会：近松一朗（群馬大学）

BCC1-1　頭頸部外科医からみた癌免疫療法

塚原清彰
東京医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

BCC1-2　頭頸部癌免疫療法における奏効・無効例の基礎的背景と
バイオマーカー確立への戦略

辻川敬裕
京都府立医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

イブニングセミナー1（17:45 ～ 18:35）

司会：田中康広（獨協医科大学埼玉医療センター）

EV-1　内視鏡下鼻副鼻腔手術の術前，術中，術後画像診断のポイント

中川隆之
京都大学大学院医学研究科　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

共催：株式会社モリタ製作所

2月8日（金）　第1会場（10階　ザ・ボールルーム）

モーニングセミナー（7:30 ～ 8:20）

司会：増山敬祐（山梨大学）

MS　花粉症治療　―第1世代から第2世代抗ヒスタミン薬へ―

橋口一弘
ふたばクリニック

共催：久光製薬株式会社

一般演題5：好酸球性副鼻腔炎（8:25 ～ 9:25）

座長：阪上雅史（兵庫医科大学），春名眞一（獨協医科大学）

O-26　好酸球性鼻副鼻腔炎における制御性T細胞について

山本小百合，神前英明，松本晃治，菊岡弘高，戸嶋一郎，清水志乃，清水猛史
滋賀医科大学　耳鼻咽喉科

O-27　好酸球性副鼻腔炎手術症例におけるIgE局所増多の病理学的検討

若山　望[1]，大橋隆司[2]，松根彰志[1]，大久保公裕[3]
[1]日本医科大学武蔵小杉病院　耳鼻咽喉科，[2]日本医科大学武蔵小杉病院　病理診断科，
[3]日本医科大学付属病院　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-28　鼻茸組織中における活性化好中球と組織障害との関連性について

阿久津誠，金谷洋明，平林秀樹，春名眞一
獨協医科大学　耳鼻咽喉・頭頸部外科

O-29　好酸球性中耳炎における重症度分類とペリオスチン

江洲欣彦[1]，増田麻理亜[1]，飯野ゆき子[2]，吉田尚弘[1]
[1]自治医科大学付属さいたま医療センター，[2]東京北医療センター

O-30　好酸球性副鼻腔炎における漢方治療の効果発現に関する分子生物学的検討

高林哲司，吉田加奈子，成田憲彦，藤枝重治
福井大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-31　ECRSとnon-ECRSの難治・再発性に関与する因子の検討

吉田加奈子，高林哲司，坂下雅文，意元義政，加藤幸宣，二之宮貴裕，成田憲彦，
藤枝重治
福井大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

奨励賞応募演題 1（9:25 ～ 10:40）

座長：池田勝久（順天堂大学），松原　篤（弘前大学）

S-1　好酸球性副鼻腔炎における Eosinophil derived neurotoxin の機能解析

津田　武[1]，前田陽平[1]，武田和也[2]，赤澤仁司[1]，端山昌樹[1]，猪原秀典[1]
[1]大阪大学大学院医学系研究科　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，
[2]大阪市立総合医療センター　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

S-2　好酸球性副鼻腔炎におけるペリオスチンとアイソフォームの検討

二之宮貴裕，意元義政，坂下雅文，高林哲司，藤枝重治
福井大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

S-3　スギ・ヒノキ花粉症患者におけるスギ花粉舌下免疫療法のヒノキ花粉症に対する免疫学的作用

菊岡弘高[1]，神前英明[1]，松本晃治[1]，戸嶋一郎[1]，清水志乃[1]，長田年弘[2]，岡野光博[3]，湯田厚司[1,4]，清水猛史[1]
[1]滋賀医科大学　耳鼻咽喉科，[2]大鵬薬品工業研究本部　第二研究所，
[3]国際医療福祉大学　耳鼻咽喉科，[4]ゆたクリニック

S-4　スギ花粉症に対する舌下免疫療法の副反応に関する検討

草野佑典[1]，太田伸男[1]，湯田厚司[2]，佐竹雅史[1]，東海林史[1]，齋藤雄太郎[1]，鈴木直弘[3]，草刈千賀志[4]，柴原義博[5]，稲村直樹[6]，鈴木祐輔[7]，香取幸夫[8]，岡本美孝[9]
[1]東北医科薬科大学病院　耳鼻咽喉科，[2]ゆたクリニック，
[3]鈴木耳鼻咽喉科・アレルギー科医院，[4]草刈耳鼻科，[5]加茂耳鼻咽喉科，
[6]なとり耳鼻咽喉科・アレルギー科医院，[7]山形大学医学部　耳鼻咽喉・頭頸部外科，
[8]東北大学　耳鼻咽喉・頭頸部外科，
[9]千葉大学大学院医学研究院　耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

S-5　難聴モデルラット蝸牛神経核におけるミクログリアの解析

野田昌生，高相裕司，吉崎智一
金沢大学　耳鼻咽喉科頭頸部外科

S-6　糖尿病モデルマウス TSOD の聴覚障害に対する内耳保護の試みについて

津田潤子，菅原一真，山下裕司
山口大学大学院医学系研究科　耳鼻咽喉科

奨励賞応募演題 2（10:40 ～ 11:55）

座長：吉川　衛（東邦大学医療センター大橋病院），
　　　太田伸男（東北医科薬科大学）

S-7　骨髄特異的 Lamin A/C の骨髄系分化へ与える影響と抗腫瘍免疫の制御メカニズムの解明

石井裕貴[1,2]，ヤン リー[2]，増山敬祐[1]
[1]山梨大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，
[2]Laboratory of Cancer Biology and Genetics, Center for Cancer Research, National Cancer Institute, NIH

S-8　頭頸部 HPV 陽性扁平上皮癌マウスモデルにおける放射線分割照射と抗 PD-1 抗体併用療法の効果

井之口豪，丹生健一
神戸大学医学部附属病院　耳鼻咽喉・頭頸部外科

S-9　頭頸部癌における制御性 T 細胞の新たな特徴

的場拓磨[1,2]，今井優樹[2]，大倉永也[3,4]，川北大介[1]，伊地知圭[1]，遠山竜也[5]，森田明理[6]，村上信五[1]，坂口志文[3]，山崎小百合[2]
[1]名古屋市立大学大学院医学研究科　耳鼻咽喉・頭頸部外科,
[2]名古屋市立大学大学院医学研究科　免疫学,
[3]大阪大学免疫学フロンティア研究センター　実験免疫学,
[4]大阪大学医学系研究科　基礎腫瘍免疫学共同研究講座,
[5]名古屋市立大学大学院医学研究科　乳腺外科,
[6]名古屋市立大学大学院医学研究科　加齢・環境皮膚科

S-10　頭頸部癌患者の免疫抑制と免疫細胞療法による治療戦略

伊原史英，櫻井大樹，飯沼智久，國井直樹，米倉修二，岡本美孝
千葉大学大学院医学研究院　耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

S-11　閉経モデルマウスにおける嗅上皮障害後の嗅上皮再生に関する研究

山田健太郎[1]，志賀英明[1]，二宮英明[2]，三輪高喜[1]
[1]金沢医科大学　耳鼻咽喉科，[2]金沢医科大学　総合医学研究所

S-12　ANCA 関連血管炎性中耳炎における好中球細胞外トラップの測定と臨床応用

森田真也，中丸裕爾，鈴木正宣，本間明宏
北海道大学大学院医学研究院　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

ランチョンセミナー3（12:05 ～ 13:05）

司会：川内秀之（島根大学）

LS-3　耳鼻咽喉科外来における咳嗽患者の取り扱い

上條　篤[1,2]
[1]埼玉医科大学　耳鼻咽喉科，[2]アレルギーセンター

共催：大鵬薬品工業株式会社／Meiji Seika ファルマ株式会社

総会（13:10 ～ 13:40）

シンポジウム「アレルギー疾患における脂質メディエーター研究の新展開」（13:40 ～ 15:10）

司会：清水猛史（滋賀医科大学），岡野光博（国際医療福祉大学）

SP-1　ホスホリパーゼ A_2 を起点とした脂質代謝によるアレルギー制御

武富芳隆[1]，村上　誠[1,2,3]
[1] 東京大学大学院医学系研究科　疾患生命工学センター　健康環境医工学,
[2] 東京大学大学院医学系研究科　分子細胞生物学専攻細胞情報学,
[3] 日本医療研究開発機構 (AMED)-CREST

SP-2　上気道の好酸球性炎症における脂質メディエーターを介した2型自然リンパ球活性化機構

戸嶋一郎
滋賀医科大学　耳鼻咽喉科

SP-3　好酸球性鼻茸におけるプロスタグランジンの役割，活性化好酸球と PGD2 受容体の発現

鈴木倫雄[1,2]，Elizabeth P. Ko-Mitamura[2]，乾　崇樹[1]，寺田哲也[1]，出島健司[3]，
永田奈々恵[2]，裏出良博[2]，河田　了[1]
[1] 大阪医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科,
[2] 筑波大学　分子睡眠生物学研究室（旧　大阪バイオサイエンス研究所第2研究部門）,
[3] 日本赤十字社京都第二赤十字病院　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

SP-4　プロスタグランジン D2 に着目した，好酸球性副鼻腔炎治療の今後

齋藤秀和
秋田大学医学部医学系研究科　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

教育講演（15:25 ～ 16:25）[領域講習]

司会：岡本美孝（千葉大学）

EL　アナフィラキシー up to date

海老澤元宏
国立病院機構相模原病院　臨床研究センター

2月8日（金） 第2会場（10階　クリスタルルーム）

一般演題6：腫瘍2（8:25～9:25）

座長：猪原秀典（大阪大学），岩井　大（関西医科大学）

O-32　頭頸部扁平上皮癌におけるPD-L1の発現—腫瘍組織と循環癌細胞の比較—

多田紘恵[1]，高橋秀行[1]，石井裕貴[2]，桑原有紀[1]，近松一朗[1]
[1] 群馬大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，
[2] Laboratory of Cancer Biology and Genetics, National Cancer Institute, NIH

O-33　切除不能再発転移頭頸部扁平上皮癌患者に対するニボルマブの有効性および安全性に関する後方視的検討

中目亜矢子，香取幸夫
東北大学　耳鼻咽喉・頭頸部外科

O-34　当院で診断された鼻副鼻腔悪性リンパ腫症例の検討

栃木康佑[1]，大村和弘[2]，細川　悠[2]，春名眞一[3]，田中康広[1]
[1] 獨協医科大学埼玉医療センター　耳鼻咽喉科，
[2] 東京慈恵会医科大学附属病院　耳鼻咽喉科，[3] 獨協医科大学　耳鼻咽喉・頭頸部外科

O-35　鼻性NK/T細胞リンパ腫における免疫抑制サイトカインの検討

熊井琢美[1,2]，長門利純[1]，林　隆介[1]，原渕翔平[1]，岸部　幹[1]，高原　幹[1]，林　達哉[1,2]，小林博也[3]，原渕保明[1]
[1] 旭川医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，
[2] 旭川医科大学　頭頸部癌先端的診断・治療学，[3] 旭川医科大学　病理学

O-36　鼻腔原発の神経内分泌癌症例

矢内　彩，楠　威志，城所淑信
順天堂大学医学部附属静岡病院　耳鼻咽喉科

O-37　Clinicopathological features of G-CSF producing head and neck malignant tumors —a brief review of 10 cases—

川内秀之[1]，青井典明[1]，森倉一朗[1]，清水保彦[1]，山田高也[2]
[1] 島根大学医学部　耳鼻咽喉科，[2] 島根大学総合科学支援センター　実験動物分野

ランチョンセミナー4（12:05～13:05）

司会：平川勝洋（広島大学　名誉教授）

LS-4　ヒスタミンH_1受容体発現亢進機構と抗ヒスタミン薬の薬理作用

北村嘉章
徳島大学大学院医歯薬学研究部　耳鼻咽喉科

共催：杏林製薬株式会社

Basic & Clinical Conference 2「IgA 腎症」（16:30 ～ 17:30）

司会：原渕保明（旭川医科大学）

BCC2-1　扁桃と IgA 腎症を繋げる基礎的エビデンス

高原　幹
旭川医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

BCC2-2　IgA 腎症の扁摘

堀田　修
堀田修クリニック（HOC）

Basic & Clinical Conference 3「好酸球性副鼻腔炎」（17:30 ～ 18:30）

司会：山田武千代（秋田大学）

BCC3-1　好酸球の運命からみた ECRS の病態

植木重治
秋田大学大学院　総合診療・検査診断学

BCC3-2　臨床研究から好酸球性副鼻腔炎のコントロールを目指す

坂下雅文[1,2]
[1] 福井大学医学部　耳鼻咽喉科,
[2] 福井大学　医学研究支援センター

イブニングセミナー 2（18:30 ～ 19:20）

司会：三輪高喜（金沢医科大学）

EV-2-1　アレルギー性鼻炎患者に対する舌下免疫療法の実際と実践のコツ
—小児患者を中心に—

川島佳代子
大阪はびきの医療センター　耳鼻咽喉科

EV-2-2　アレルギー性気道炎症における抗原特異的な IL-33 産生の機序

奈邉　健
摂南大学　薬学部薬効薬理学

共催：鳥居薬品株式会社

2月9日（土）　第1会場（10階　ザ・ボールルーム）

一般演題7：鼻・副鼻腔粘膜（10:00～11:00）

座長：高林哲司（福井大学），神前英明（滋賀医科大学）

O-38　当科における，鼻・副鼻腔手術症例の喉頭症状と咳の評価

齋藤秀和，山田武千代
秋田大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-39　ヒト気道上皮細胞とヒト鼻粘膜上皮細胞におけるペリオスチン産生の検討

洲崎勲夫[1,2]，水吉朋美[1]，小林一女[1]，Bruce K. Rubin[2]
[1]昭和大学医学部　耳鼻咽喉科，
[2]Department of Pediatrics, Virginia Commonwealth University

O-40　レドックス制御からみた慢性副鼻腔炎粘膜における組織・血管障害について

西田　学，竹野幸夫
広島大学病院　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-41　低酸素ストレスによる鼻茸組織の変化とMMP-8陽性好中球の関係について

金谷洋明[1,2]，阿久津誠[1]，平林秀樹[1]，春名眞一[1]
[1]獨協医科大学医学部　耳鼻咽喉・頭頸部外科，
[2]とちぎメディカルセンターしもつが　耳鼻咽喉科

O-42　鼻粘膜において低亜鉛はコラーゲン産生を抑制する

鈴木正宣[1,2]，中丸裕爾[1]，Mahnaz Ramezanpour[2]，中薗　彬[1]，Peter-John Wormald[2]，Sarah Vreugde[2]，本間明宏[1]
[1]北海道大学大学院医学研究院　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，
[2]The Queen Elizabeth Hospital, Department of Otolaryngology and Head and Neck Surgery of Adelaide University

O-43　慢性副鼻腔炎手術加療後の喘息発症についての検討

中村陽祐[1]，藤井太平[1]，横山裕子[1]，榎本雅夫[2]，竹内裕美[1]
[1]鳥取大学医学部　感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科，
[2]NPO日本健康増進支援機構

一般演題8：好酸球性炎症・その他（11:00～12:00）

座長：室野重之（福島県立医科大学），松根彰志（日本医科大学武蔵小杉病院）

O-44　好酸球性副鼻腔炎の検討

鈴木哲史，松原　篤，高畑淳子，野村彩美
弘前大学大学院医学研究科

O-45　重症気管支喘息に合併する好酸球性副鼻腔炎に対してbenralizumabが著効した1例

松山敏之，多田紘恵，近松一朗
群馬大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-46　好酸球性副鼻腔炎の難治化因子とadipokineの検討

意元義政，高林哲司，坂下雅文，森川太洋，二ノ宮貴裕，加藤幸宣，吉田加奈子，藤枝重治
福井大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-47　花粉・食物アレルギー症候群に対するオオアワガエリ花粉の関与

大澤陽子[1]，加藤幸宣[2]，藤枝重治[2]
[1]福井赤十字病院　耳鼻咽喉科，[2]福井大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-48　ポールンロボによる同一県内リアルタイム花粉情報の有用性

鈴木祐輔[1]，高橋裕一[1]，倉上和也[1]，川合　唯[1]，渡邊千尋[1]，太田伸男[2]，欠畑誠治[1]
[1]山形大学医学部　耳鼻咽喉・頭頸部外科，[2]東北医科薬科大学　耳鼻咽喉科

O-49　過去5年間のスギ・ヒノキ科花粉症における咽喉頭症状の検討

村嶋智明，犬塚雄貴，内藤健晴
藤田医科大学医学部　医学科

ランチョンセミナー5（12:10～13:10）

司会：山下裕司（山口大学）

LS-5　鼻アレルギーと咽喉頭症状―免疫療法と薬物療法の効果的な使い方

阪本浩一
大阪市立大学　耳鼻科・病院

共催：サノフィ株式会社

専門医共通講習（倫理）（13:25～14:25）

司会：荻野　敏（大阪大学　名誉教授）

共通講習　人生の最終段階における意思決定～Advance care planning～

月山　淑
和歌山県立医科大学附属病院　腫瘍センター緩和ケアセンター

2月9日（土）　第2会場（10階　クリスタルルーム）

Basic & Clinical Conference 4「アレルギー性鼻炎に対する抗原特異的免疫療法」（8:00 ～ 9:00）

司会：大久保公裕（日本医科大学）

BCC4-1　治療効果予測マーカーの実現化をめざして

後藤　穣
日本医科大学　耳鼻咽喉科

BCC4-2　アレルギー性鼻炎のメカニズムと抗原特異的免疫療法に対する実験動物学的解析

神沼　修
山梨大学大学院総合研究部　医学域・総合分析実験センター

Basic & Clinical Conference 5「上咽頭癌」（9:00 ～ 10:00）

司会：吉崎智一（金沢大学）

BCC5-1　基礎と臨床それぞれの立場から

近藤　悟
金沢大学医学系　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

BCC5-2　Novel epigenetic biomarkers for nasopharyngeal carcinoma

徐　軼菲
三重大学大学院医学系研究科　耳鼻咽喉・頭頸部外科

2月9日（土）　ポスター会場（12階　エメラルドルーム）

ポスター1：鼻・副鼻腔（10:00 ～ 10:56）

座長：飯野ゆき子（東京北医療センター），出島健司（京都第二赤十字病院）

P-1　ENT-Dibカテーテルを用いた好酸球性副鼻腔炎の術後治療の試み

松根彰志[1]，谷水弘毅[1]，大久保公裕[2]
[1]日本医科大学武蔵小杉病院　耳鼻咽喉科，[2]日本医科大学付属病院　耳鼻咽喉科

P-2　スエヒロタケ（*Schizophyllum commune*）の特異的IgE抗体のみが検出されたアレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎についての検討

井上なつき[1]，横井佑一郎[1]，青木由香[1]，両角尚子[1]，高畑喜臣[1]，久保田俊輝[1]，
穐山直太郎[1]，大原関利章[2]，吉川　衛[1]
[1]東邦大学医療センター大橋病院　耳鼻咽喉科，
[2]東邦大学医療センター大橋病院　病理診断科

P-3　小児に発症したアレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎（AFRS; allergic fungal rhinosinusitis）の1例

北村江理[1]，前田陽平[2]，端山昌樹[2]，津田　武[2]，赤澤仁司[2]，猪原秀典[2]
[1]一般財団法人住友病院　耳鼻咽喉科，
[2]大阪大学医学部付属病院　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-4　IgG4関連疾患における嗅覚障害の検討

兼田美紗子[1]，近藤　悟[2]，吉崎智一[2]
[1]福井県済生会病院　耳鼻咽喉科，[2]金沢大学医学部　耳鼻咽喉科頭頸部外科

P-5　好酸球性副鼻腔炎の術後再発に対する中鼻甲介切除の治療効果および合併症の検討

端山昌樹[1]，前田陽平[1]，津田　武[1]，赤澤仁司[1]，武田和也[2]，猪原秀典[1]
[1]大阪大学大学院医学系研究科　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，
[2]大阪市立総合医療センター　耳鼻咽喉科

P-6　好酸球性副鼻腔炎の術後加療における経口ステロイド投与に関する検討

野田実里[1]，檜垣貴哉[1]，假谷　伸[1]，岡野光博[2]，西﨑和則[1]
[1]岡山大学大学院医歯薬学総合研究科　耳鼻咽喉・頭頸部外科，
[2]国際医療福祉大学医学部　耳鼻咽喉科

P-7　好酸球性副鼻腔炎術後経過中に好酸球性多発血管炎性肉芽種症を発症した1例

仲吉博紀，真栄田裕行，嘉陽祐紀，比嘉朋代，鈴木幹男
琉球大学大学院医学研究科　耳鼻咽喉・頭頸部外科

P-8　慢性副鼻腔炎における術後内視鏡の部位別評価と再発性の検討

都築建三，橋本健吾，岡崎　健，阪上雅史
兵庫医科大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

ポスター2：アレルギー・その他（11:00 ～ 11:49）

座長：小林正佳（三重大学），松延　毅（日本医科大学）

P-9　小児における Local allergic rhinitis の診断

横山裕子[1]，中村陽祐[1]，榎本雅夫[2]，竹内裕美[1]
[1]鳥取大学医学部　感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科，
[2]NPO 日本健康増進支援機構

P-10　圧刺激やヒスタミンが及ぼす粘膜上皮 Ca 応答機構

村上亮介[1]，高田弘弥[2]，三輪正人[1]，大久保公裕[1]，小川　令[2]
[1]日本医科大学　耳鼻咽喉科，[2]日本医科大学　形成外科

P-11　ヒノキ花粉特異的 IgE の検討

川島佳代子，奥野未佳，山本雅司
大阪はびきの医療センター　耳鼻咽喉科

P-12　島根県におけるスギ・ヒノキ花粉飛散予測因子の検討

淵脇貴史，森倉一朗，清水保彦，清水香奈子，青井典明，川内秀之
島根大学医学部　耳鼻咽喉科

P-13　重症アトピー性皮膚炎を合併したアレルギー性鼻炎患者の検討

山本雅司，奥野未佳，佐々木崇博，川島佳代子
大阪はびきの医療センター　耳鼻咽喉科

P-14　スギ・ダニ抗原特異的リンパ球刺激試験の検討

岩崎成仁，阪本浩一，井口広義
大阪市立大学大学院医学研究科　耳鼻咽喉病態学

P-15　慢性副鼻腔炎患者における下気道評価の検討

奥野未佳，山本雅司，川島佳代子
大阪はびきの医療センター　耳鼻咽喉科

ポスター3：アレルギー性鼻炎（10:00 ～ 10:56）

座長：竹内裕美（鳥取大学），兵　行義（川崎医科大学）

P-16　東京都におけるスギ花粉症有病率の現状

斎藤翔太[1]，遠藤朝則[1,3]，児玉浩希[1]，光吉亮人[1]，杉本直基[1]，高石慎也[1]，大前祥子[1]，浅香大也[1,4]，遠藤朝彦[5]，浦島佳充[2]，小島博己[1]
[1]東京慈恵会医科大学　耳鼻咽喉科，[2]東京慈恵会医科大学　分子免疫研究部，
[3]国家公務員共済組合連合会東京共済病院，[4]浅香耳鼻咽喉科クリニック，
[5]遠藤耳鼻咽喉科アレルギークリニック

P-17　三重県津市における過去 10 年間のスギ・ヒノキ花粉飛散の解析

Said Ahmad Shah，竹内万彦
三重大学大学院医学系研究科　耳鼻咽喉・頭頸部外科

P-18　スギ・ヒノキ花粉症患者における睡眠障害の実態調査

雑賀太郎，兵　行義，浜本真一，原　浩貴
川崎医科大学　耳鼻咽喉科

P-19　腸内細菌叢がIgE産生に及ぼす影響：岩木健康増進プロジェクト2016の結果から

野村彩美，松原　篤
弘前大学大学院医学研究科　耳鼻咽喉科

P-20　スギ花粉症患者の頭痛についての質問票調査

代永孝明[1,2]，五十嵐賢[1,2]，松岡伴和[1,2]，大戸武久[2]，小澤　仁[2]，島田和哉[2]，藤森　功[2]，堀内博人[2]，松崎全成[2]，渡部一雄[2]，上條　篤[2,3]，増山敬祐[1,2]
[1]山梨大学大学院総合研究部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，[2]山梨環境アレルギー研究会，
[3]埼玉医科大学病院　耳鼻咽喉科

P-21　スギ・ヒノキ花粉症に対する小児・成人の症状出現の相違について

兵　行義，濱本真一，雑賀太郎，原　浩貴
川崎医科大学　耳鼻咽喉科

P-22　国際医療福祉大学三田病院における昆虫アレルギー単独感作例の検討

小山田匠吾[1]，高橋優宏[2]，岡野光博[2,3,4]
[1]国際医療福祉大学病院　臨床研修センター，[2]国際医療福祉大学病院　耳鼻咽喉科，
[3]国際医療福祉大学三田病院　耳鼻咽喉科，[4]国際医療福祉大学医学部　耳鼻咽喉科

P-23　スギ花粉症発症者と感作未発症者における特異的T細胞の差異の探索

飯沼智久，伊原史英，國井直樹，米倉修二，櫻井大樹，岡本美孝
千葉大学医学部附属病院　耳鼻咽喉・頭頸部外科

ポスター4：舌下免疫療法（11:00 ～ 11:42）

座長：安田　誠（京都府立医科大学），米倉修二（千葉大学）

P-24　当科における舌下免疫療法の現況

宮本佳人
積善会十全総合病院　耳鼻咽喉科

P-25　スギ舌下エキスとダニ舌下錠による舌下免疫療法併用の安全性の検討

中村真浩[1]，井出拓磨[1,2]，池田勝久[1]
[1]順天堂大学医学部　耳鼻咽喉科，
[2]順天堂大学大学院医学研究科　アトピー疾患研究センター

P-26　スギ花粉症舌下免疫療法がアレルギー性鼻炎症状と睡眠障害に与える影響

藤井達也[1]，神村盛一郎[2]，北村嘉章[2]，武田憲昭[2]
[1]JA高知病院　耳鼻咽喉科，[2]徳島大学医学部　耳鼻咽喉科

P-27　スギ花粉症舌下免疫療法の継続治療効果に関する検討

濱田聡子[1,2]，小林良樹[1,2]，河内理咲[1,2]，神田　晃[1,2]，朝子幹也[1,2]，後藤　穣[3]，
大久保公裕[3]，岩井　大[1]
[1]関西医科大学医学部　耳鼻咽喉科頭頸部外科，
[2]関西医科大学附属病院アレルギーセンター，[3]日本医科大学　耳鼻咽喉科

P-28　小児アレルギー性鼻炎に対するダニ舌下免疫療法の副反応についての検討

兵　行義，雑賀太郎，濱本真一，原　浩貴
川崎医科大学　耳鼻咽喉科

P-29　スギ花粉症舌下免疫治療時当初から舌下部の副作用が強く口腔アレルギー症候群も呈していた一例

中田誠一[1]，木村文美[1]，平野耕治[2]
[1]藤田医科大学ばんたね病院　耳鼻咽喉科，[2]藤田医科大学ばんたね病院　眼科

ポスター5：腫瘍（10:00 ～ 10:49）

座長：倉富勇一郎（佐賀大学），本間明宏（北海道大学）

P-30　ニボルマブ投与によりHyper Progressive Diseaseとなった頭頸部癌2症例の検討

芦澤　圭，松岡伴和，増山敬祐
山梨大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-31　当院におけるニボルマブ症例におけるTILsの検討

築家伸幸，竹野幸夫，西田　学
広島大学病院　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-32　Nivolumabを使用した上顎癌の1例

堀　健志，菅原一真，山下裕司
山口大学大学院医学系研究科　耳鼻咽喉科

P-33　頭頸部癌に対する化学療法中に発症した腸管嚢腫様気腫症

小林由貴，菅原一真，沖中洋介，山下裕司
山口大学大学院医学系研究科　耳鼻咽喉科

P-34　リン酸化抗原特異的T細胞を利用した悪性腫瘍に対するペプチドワクチン療法の基礎的解析

大原賢三[1]，熊井琢美[1]，長門利純[1,2]，林　隆介[1,2]，原渕翔平[1,2]，小林博也[2]，原渕保明[1]
[1]旭川医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，[2]旭川医科大学　病理学講座免疫病理分野

P-35　頭頸部に発生したアミロイドーシスの4症例

中村友樹[1,2]，細川誠二[2]，峯田周幸[2]
[1]沼津市立病院　耳鼻咽喉科，[2]浜松医科大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-36 頭頸部癌を合併した皮膚筋炎症例

岩本 文[1,2]，菅原一真[1]，広瀬敬信[1]，長門晋平[2]，遠藤史郎[2]，山下裕司[1]
[1]山口大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科，[2]徳山中央病院 耳鼻咽喉科

ポスター6：免疫・その他（11:00 ～ 11:42）

座長：鈴木正志（大分大学），竹内万彦（三重大学）

P-37 インフルエンザウイルスワクチンによる扁桃細胞増殖能の免疫学的検討

川野利明，平野 隆，合原良亮，馬渕英彰，伊東和恵，立山香織，鈴木正志
大分大学医学部 耳鼻咽喉科

P-38 粘膜アジュバント経鼻投与による自然リンパ球への影響

平野 隆，川野利明，松永崇志，吉永和弘，鈴木正志
大分大学医学部 耳鼻咽喉科

P-39 PCV13 接種後のホスホリルコリン経鼻投与による免疫増強効果

大堀純一郎，川畠雅樹，永野広海，黒野祐一
鹿児島大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-40 鼻性 NK/T 細胞リンパ腫における CD27 の発現

長門利純[1,2]，林 隆介[1]，原渕翔平[1]，野崎 結[1]，大原賢三[1]，熊井琢美[1,3]，岸部 幹[1]，高原 幹[1]，小林博也[2]，原渕保明[1]
[1]旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科，
[2]旭川医科大学 病理学講座免疫病理分野，
[3]旭川医科大学 頭頸部癌先端的診断・治療学

P-41 スギ花粉症患者における補助療法としての高張食塩水洗浄の意義

大木幹文[1]，鈴木立俊[2]
[1]北里大学メディカルセンター 耳鼻咽喉科，
[2]北里大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-42 アルゴンプラズマ下鼻甲介焼灼術による鼻閉症状改善効果と鼻腔抵抗の関連性の検討

井出拓磨[1,2]，中村真浩[1]，池田勝久[1]
[1]順天堂大学医学部 耳鼻咽喉科，
[2]順天堂大学大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター

ポスター7：鼻アレルギー基礎（10:00 ～ 10:49）

座長：本田耕平（新潟大学），櫻井大樹（千葉大学）

P-43 好酸球性副鼻腔炎・気管支喘息と SEMA4A の関連について

前田陽平[1]，津田 武[1]，端山昌樹[1]，赤澤仁司[1]，識名 崇[2]，猪原秀典[1]
[1]大阪大学医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科，[2]市立池田病院 耳鼻いんこう科

P-44　好酸球性副鼻腔炎における鼻茸局所B細胞サブセットの遺伝子発現解析

武田和也[1]，端山昌樹[2]，前田陽平[2]，津田　武[2]，赤澤仁司[2]，識名　崇[3]，猪原秀典[2]
[1]大阪市立総合医療センター　耳鼻咽喉科，
[2]大阪大学大学院医学系研究科　耳鼻咽喉科・頭頸部外科，
[3]市立池田病院　耳鼻いんこう科

P-45　歯周病治療における新たな治療戦略を目指したCX3CR1シグナリングの働き

澤田俊輔[1]，神田　晃[2]，鈴木健介[2]，尹　泰貴[2]，Van Bui Dan[2]，小林良樹[2]，兒島由佳[1]，岩井　大[2]
[1]関西医科大学医学部　耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座歯科口腔外科，
[2]関西医科大学医学部　耳鼻咽喉科頭頸部外科

P-46　好酸球性中耳炎モデルにおけるCD11c陽性樹状細胞

原隆太郎[1]，工藤直美[2]，鈴木哲史[2]，三浦智也[2]，松原　篤[2]
[1]むつ総合病院　耳鼻咽喉科，[2]弘前大学大学院医学研究科　耳鼻咽喉科

P-47　好酸球性中耳炎におけるIgG4陽性細胞の発現

高橋優宏[1]，岡野光博[2]，野口佳裕[2]
[1]国際医療福祉大学三田病院　耳鼻咽喉科，[2]国際医療福祉大学医学部　耳鼻咽喉科

P-48　経鼻的に投与したIGF-1が脳内神経芽細胞の輸送に及ぼす影響

中村有加里[1]，志賀英明[1]，八田稔久[2]，坂田ひろみ[2]，二宮英明[3]，三輪高喜[1]
[1]金沢医科大学　耳鼻咽喉科，[2]金沢医科大学　解剖学1，
[3]金沢医科大学　総合医学研究所

P-49　好酸球のETosisと，シャルコー・ライデン結晶の形成

齋藤秀和，山田武千代
秋田大学医学部医学系研究科　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

ポスター8：自己免疫（11:00 ～ 11:42）

座長：原　浩貴（川崎医科大学），端山昌樹（大阪大学）

P-50　治療に難渋した頭痛，眼痛を伴う眼窩内多発血管炎性肉芽腫症

高畑淳子，野村彩美，松原　篤
弘前大学大学院医学研究科　耳鼻咽喉科

P-51　小児紫斑病性腎炎に対する口蓋扁桃摘出術の経験

松浦貴文，菅原一真，津田潤子，橋本　誠，山下裕司
山口大学　耳鼻咽喉科

P-52　慢性上咽頭炎を疑われたIgA腎症患者に対する上咽頭擦過療法の効果

比嘉朋代，嘉陽祐紀，真栄田裕行，鈴木幹男
琉球大学大学院医学研究科　耳鼻咽喉・頭頸部外科

P-53　当初，咽後膿瘍を疑った川崎病患者の一例

尾崎慎哉[1]，中村善久[2]，鈴木元彦[1]，村上信五[1]
[1]名古屋市立大学医学部　耳鼻咽喉頭頸部外科，[2]名古屋第二赤十字病院

P-54　咽後膿瘍類似所見を認めた川崎病の2症例

橋本健吾，都築建三，岡崎　健，阪上雅史
兵庫医科大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-55　再発性多発軟骨炎9症例の検討

永野広海，地村友宏，川畠雅樹，大堀純一郎，黒野祐一
鹿児島大学　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

共催一覧

共催セミナー

杏林製薬株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
サノフィ株式会社
大鵬薬品工業株式会社
田辺三菱製薬株式会社
鳥居薬品株式会社
久光製薬株式会社
Meiji Seika ファルマ株式会社
株式会社モリタ製作所

機器展示

オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
有限会社近藤研究所
第一医科株式会社
株式会社三笑堂
株式会社ディヴインターナショナル
東洋羽毛工業株式会社
鳥居薬品株式会社
永島医科器械株式会社
ニールメッド株式会社
株式会社モリタ製作所

書籍販売

神陵文庫株式会社

広告

アステラス製薬株式会社
MSD 株式会社
小野薬品工業株式会社
オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社
カールツァイスメディテック株式会社
杏林製薬株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
クラシエ薬品株式会社
興和創薬株式会社
サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社
サノフィ株式会社
塩野義製薬株式会社
ジョンソンエンドジョンソン株式会社
株式会社スマートプラクティスジャパン
大正富山医薬品株式会社
田辺三菱製薬株式会社
テルモ株式会社
鳥居薬品株式会社
永島医科器械株式会社
日本化薬株式会社
日本新薬株式会社
日本メドトロニック株式会社
株式会社日本ルミナス
ノバルティスファーマ株式会社
久光製薬株式会社
Meiji Seika ファルマ株式会社
メルクセローノ株式会社
株式会社モリタ製作所

寄付

大阪医科大学医師会
小野薬品工業株式会社
SPIO
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

平成 30 年 12 月 26 日現在

まだないくすりを
創るしごと。
世界には、まだ治せない病気があります。
世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。
明日を変える一錠を創る。
アステラスの、しごとです。
明日は変えられる。
astellas
アステラス製薬株式会社
www.astellas.com/jp/

OLYMPUS
耳鼻咽喉内視鏡検査に特化した
新時代のデザイン
ピストルグリップは安定した把持に適したデザインであり、
快適な内視鏡操作を提供します。
耳鼻咽喉ビデオスコープ
ENF-VH2/ENF-V4
世界初の4方向湾曲と
高画質画像が提供する新たな価値
病変へのアプローチ性の大幅な改善に貢献します。
高画質CCDを搭載し、小さな病変に対しても明るく、
鮮明な視野を提供します。
鼻咽喉ビデオスコープ
ENF-VT3
製造販売元　オリンパスメディカルシステムズ株式会社
販売名　医療機器番号
耳鼻咽喉ビデオスコープ OLYMPUS ENF-VH2　230ABBZX00030000
耳鼻咽喉ビデオスコープ OLYMPUS ENF-V4　230ABBZX00028000
鼻咽喉ビデオスコープ OLYMPUS ENF-VT3　229ABBZX00103000
耳鼻咽喉内視鏡検査のスタンダードへ
オリンパス株式会社
www.olympus.co.jp

R751U

カールツァイスVarioシリーズから約19年ぶりに次世代手術用顕微鏡TIVATO 700が誕生しました。
より多くを求められる手術において、様々な側面から手術ワークフローを効率化する
先端的なテクノロジーを搭載したAdvanced Visualization Systemをご体感ください。

Seize The Digital Future.
www.zeiss.com/tivato

Application image courtesy of Prof. Dr. Joachim Hornung, University Clinic Erlangen, Germany

ZEISS

発売元
杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
〈資料請求先：くすり情報センター〉

プロモーション提携
科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込2丁目28-8
〈資料請求先：医薬品情報サービス室〉

製造販売元
MSD株式会社
〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12

作成年月 2017.12

代謝賦活剤・抗めまい剤

薬価基準収載

アデホスコーワ顆粒10%

ADETPHOS KOWA GRANULE 10%

（ATP顆粒剤）

効能・効果、用法・用量、使用上の注意については
添付文書をご参照ください。

Kowa

製造販売元（資料請求先）
興和株式會社
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

販売元
興和創薬株式会社
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2018年2月作成

アレルギー診断の補助に

Thermo Scientific™
イムノキャップ™ 特異的IgE

Thermo Scientific™
イムノキャップ ラピッド 鼻炎・ぜんそくI™

Thermo Scientific™
Viewアレルギー39™

Find out more at **thermoscientific.com/phadia/ja**

サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社

0120-489-211　info-jp.idd@thermofisher.com

© 2018 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved. All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.

Thermo Fisher SCIENTIFIC

© Cultura RM Exclusive / Edwin Jimenez / Getty Images

Empowering Life

サノフィは、ヘルスジャーニー・パートナーとして、
私たちを必要とする人々に寄り添い支えます。

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目 20 番 2 号 東京オペラシティタワー　www.sanofi.co.jp

SANOFI

減感作療法薬（アレルゲン免疫療法薬）

アシテア® ダニ舌下錠

100単位(IR)/300単位(IR)

Actair® 処方箋医薬品[注1)]
注1）注意ー医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

「効能・効果」,「用法・用量」,「警告・禁忌を含む使用上の注意」等
については添付文書をご参照ください。

®：登録商標

提携
STALLERGENES GREER

製造販売元［資料請求先］
シオノギ製薬
大阪市中央区道修町 3-1-8
医薬情報センター 0120-956-734

ACT-KO-0001（V01）　審302175　2016 年 12月作成

マクロライド系抗生物質製剤 処方箋医薬品注)
日本薬局方 クラリスロマイシン錠
薬価基準収載
クラリス® 錠 200
日本薬局方 クラリスロマイシン錠
薬価基準収載
クラリス® 錠 50小児用
薬価基準収載
クラリス® ドライシロップ10%小児用
クラリスロマイシン製剤 注)注意―医師等の処方箋により使用すること
●「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。
発売［資料請求先］
大正富山医薬品株式会社
〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1
製造販売
大正製薬株式会社
〒170-8633 東京都豊島区高田3-24-1
CLA42 2014.11

TERUMO
pHの低下により、液体から半固形に変化する。
マーメッド® ワン 1
1.0 kcal/mL
粘度可変型栄養材
300kcal/300mL
水分252mL/300kcal
400kcal/400mL
水分336mL/400kcal
● 使いやすい流動性※ ※当社従来品と比較して
● アルギン酸ナトリウム、大豆たんぱく、カルニチン含有／半消化態として設計
● 日本人の食事摂取基準（2015年版）対応
テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 www.terumo.co.jp
TERUMO はテルモ株式会社の商標です。マーメッドはテルモ株式会社の登録商標です。本製品は（株）カネカの技術で作られています。 ©テルモ株式会社 2018年1月

スギ花粉症の減感作療法（アレルゲン免疫療法）薬　処方箋医薬品[注]　薬価基準収載

新発売

シダキュア®スギ花粉舌下錠 2,000JAU 5,000JAU

CEDARCURE®

注）注意―医師等の処方箋により使用すること

スギ花粉症の減感作療法（アレルゲン免疫療法）薬　処方箋医薬品[注]　薬価基準収載

シダトレン®スギ花粉舌下液 200JAU/mLボトル 2,000JAU/mLボトル 2,000JAU/mLパック

CEDARTOLEN®

注）注意―医師等の処方箋により使用すること

ダニアレルギーの減感作療法（アレルゲン免疫療法）薬　処方箋医薬品[注]　薬価基準収載

ミティキュア®ダニ舌下錠 3,300JAU 10,000JAU

MITICURE®

注）注意―医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果」「用法及び用量」「警告・禁忌を含む使用上の注意」等、詳細については各製品添付文書をご参照ください。

製造販売元
鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1

資料請求先
鳥居薬品株式会社　お客様相談室
TEL 0120-410-520　FAX 03-3231-6890

2018年6月作成

Satou's Curved Laryngo-pharyngoscope (Type-S2)

開口器付
口腔咽喉頭直達鏡
佐藤式 彎曲型

特　徴

◇鏡筒部が彎曲しているため、歯牙・顎関節・頸椎への負担を軽減しつつ、中下咽頭・喉頭の良好な視野とワーキングスペースが確保できます。

◇可動式開口フレームによって、口腔・中咽頭の視野が改善され、肉眼直視下での扁桃摘出術でも、扁桃下極までの良好な視野が提供できます。

◇開口器が調節レバーを装備しているため、鏡筒部の挿入深さを任意に調節でき、調節レバーを回すことで容易に微調整ができます。

◇経鼻内視鏡や上部消化管内視鏡を使用することで、より確実な診断・手術（ELPS・ESD・EMR）ができます。

一般的名称	開孔器
リスク分類	一般医療機器
特定保守管理医療機器　該当の有無	非該当
設置管理医療機器　該当の有無	非該当
製造販売届出番号	13B1X00138SA0395

◇取扱説明画像

永島医科器械株式会社
SINCE 1910

［本 社］
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-24-1
TEL (03)3812-1271(代)・FAX (03)3816-2824
東京支社 / 名古屋営業所 / 大阪営業所
URL http://www.nagashima-medical.co.jp

本社・第二工場・第三工場に適用

すきまひろげる
夢ひろがる

日本化薬は創立以来、「火薬」「染料」「医薬」「樹脂」の技術を駆使し、
それらを融合・変化させながら時代のニーズに応える製品をつくってきました。
そして、これからも皆さまの生活をより豊かにするために、
「世界的すきま発想。」で、未来に向かって新しいチャレンジをしてまいります。

世界的すきま発想。

日本化薬

日本化薬の未来につながる
仕事を、のぞきに来てください ▶

薬価基準収載

粉末噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

エリザス® 点鼻粉末200μg 28噴霧用

Erizas® Nasal Powder 200μg 28 metered spray

デキサメタゾンシペシル酸エステル点鼻粉末

処方箋医薬品（注意―医師等の処方箋により使用すること）

「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）
日本新薬株式会社
〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

2017年11月作成 A4/2

日本メドトロニック株式会社
サージカルテクノロジー事業部

medtronic.co.jp

販売名：インテグレイテッドパワーコンソール	医療機器認証番号：222ACBZX00018000
販売名：M5ハンドピース	医療機器届出番号：13B1X00261X00043
販売名：ENTブレード（耳鼻咽喉科・整形領域用）	医療機器届出番号：13B1X00261X00010
販売名：ENT電動ハンドピース	医療機器認証番号：224ACBZX00074000
販売名：ENTドリルアタッチメント	医療機器届出番号：13B1X00261X00042
販売名：ENTバー（耳鼻科・整形領域用）	医療機器届出番号：13B1X00261X00011
販売名：ベントチューブ	医療機器認証番号：21800BZY10150000
販売名：NIMシステム3．0	医療機器認証番号：221ACBZX00103000
販売名：EMブレード	医療機器届出番号：13B1X00261X00041

Medtronic

© Medtronic Japan Co., Ltd. 2017. All Rights Reserved. Printed in Japan. PRPG.ST.20171218.B/SHO-PDF

Lumenis®
Energy to Healthcare

All in One　Superior CO2 Laser ENT Platform

AcuPulse DUO

Novartis Pharma K.K.

新しい発想で医療に貢献します

ノバルティスのミッションは、より充実した、すこやかな毎日のために、
新しい発想で医療に貢献することです。
イノベーションを推進することで、治療法が確立されていない疾患にも
積極的に取り組み、新薬をより多くの患者さんにお届けします。

NOVARTIS

ノバルティス ファーマ株式会社

http://www.novartis.co.jp/

Hisamitsu®

経皮吸収型 アレルギー性鼻炎治療剤 [薬価基準収載]
処方箋医薬品注） 注）注意—医師等の処方箋により使用すること

アレサガ®テープ 4mg 8mg

ALLESAGA® TAPE エメダスチンフマル酸塩経皮吸収型製剤

新発売

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元：久光製薬株式会社
〒841-0017 鳥栖市田代大官町408番地

資料請求先：久光製薬株式会社　学術部　お客様相談室
〒100-6330 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号
フリーダイヤル 0120-381332　FAX.(03) 5293-1723
受付時間／9:00—17:50（土日・祝日・会社休日を除く）

2018年4月作成

明日をもっとすこやかに

meiji

アレルギー性疾患治療剤
処方箋医薬品（注意ー医師等の処方箋により使用すること） 薬価基準収載

ビラノア®錠20mg
Bilanoa® tablet 20mg ビラスチン錠

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

販売元
Meiji Seika ファルマ株式会社
東京都中央区京橋 2-4-16
http://www.meiji-seika-pharma.co.jp/

製造販売元
TAIHO 大鵬薬品工業株式会社
東京都千代田区神田錦町1-27

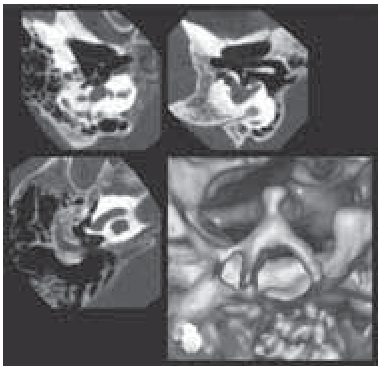
提携先 FAES FARMA スペイン

2017年11月作成

MORITA

Thinking ahead. Focused on life.

3D Accuitomo



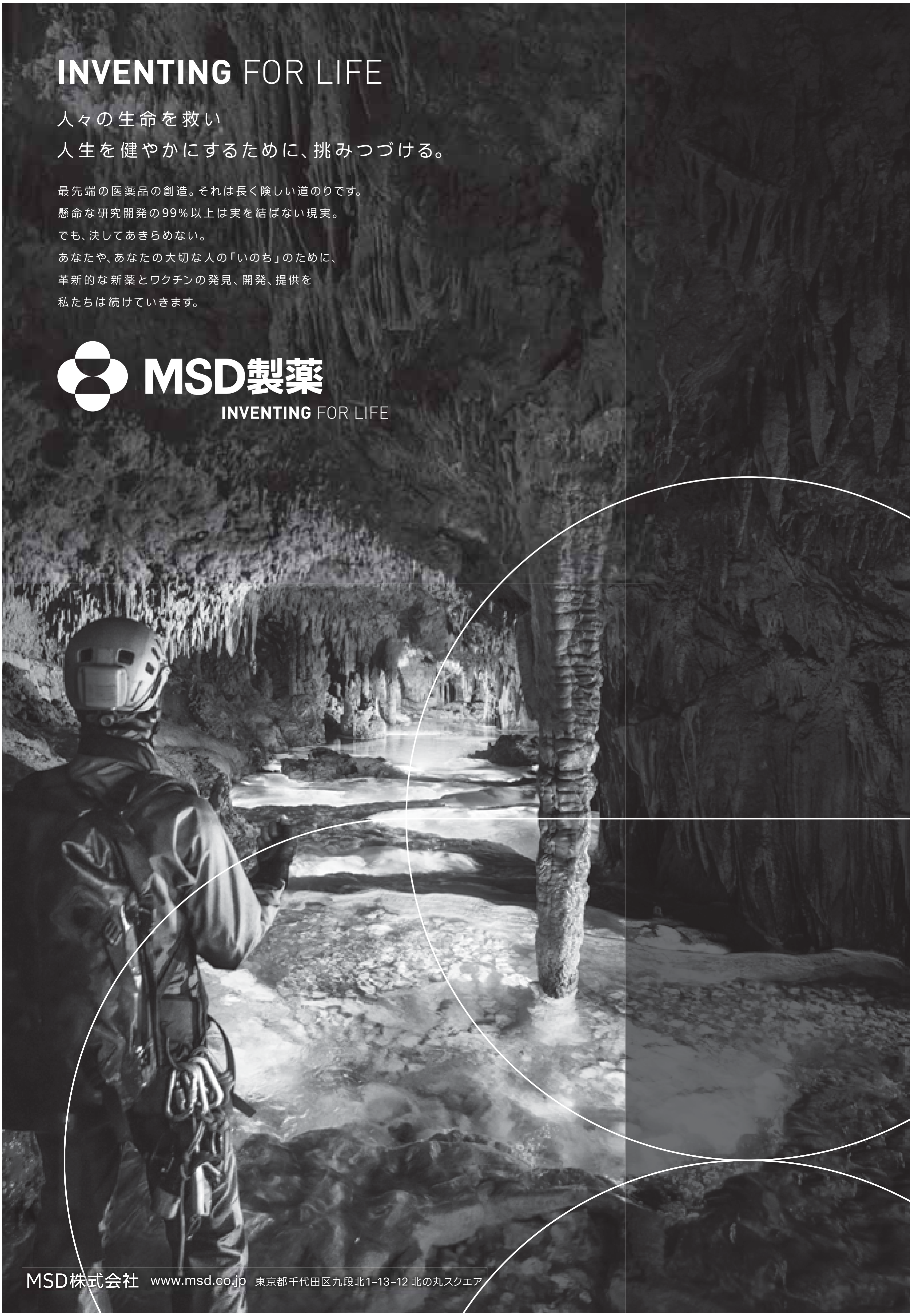
あぶみ骨ボリュームレンダリング（Φ30×30）
（福島県立医科大学様ご提供）

80µm スライス実現 3DCT 高精細

高空間分解能（2.0 LP/mm以上）
小照射野撮影のための自動位置づけ機能
単純撮影モードを搭載
単純撮影からCT撮影へ簡単移行

販売名：頭部用X線CT診断装置 3D Accuitomo 一般的名称：アーム型X線CT診断装置 機器の分類：管理医療機器（クラスⅡ）特定保守管理医療機器 認証番号：21500BZZ00390000
製造販売 株式会社モリタ製作所 京都市伏見区東浜南町680番地 〒612-8533 TEL 075-611-2141
販売 株式会社モリタ製作所 医療機器部 京都市伏見区東浜南町680番地 〒612-8533 TEL 075-605-2323 FAX 075-605-2355
株式会社モリタ製作所 営業所：東京、大阪、埼玉、愛知、福岡 海外拠点：フランクフルト、ロサンゼルス、シンガポール、ジャカルタ

www.jmorita-mfg.co.jp e-mail : jm-med@jmorita-mfg.co.jp


INVENTING FOR LIFE
人々の生命を救い
人生を健やかにするために、挑みつづける。
最先端の医薬品の創造。それは長く険しい道のりです。
懸命な研究開発の99%以上は実を結ばない現実。
でも、決してあきらめない。
あなたや、あなたの大切な人の「いのち」のために、
革新的な新薬とワクチンの発見、開発、提供を
私たちは続けていきます。
MSD製薬
INVENTING FOR LIFE
MSD株式会社 www.msd.co.jp 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア

オンコロジーに関する最新ニュース、文献情報、学会情報をお届けいたします。

小野薬品工業株式会社

〒541-8564
大阪府大阪市中央区久太郎町1丁目8番2号

Kracie

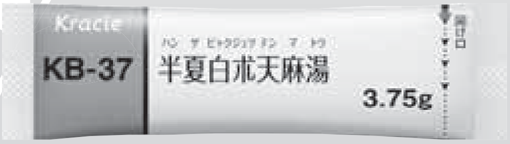
日本標準商品分類番号　875200

twice or three times a day　選べるやさしさ

漢方製剤　　ハン ゲ ビャクジュツ テン マ トウ　　薬価基準収載

クラシエ 半夏白朮天麻湯 エキス細粒

KB-37



EK-37

効能・効果　胃腸虚弱で下肢が冷え、めまい、頭痛などがあるもの

用法・用量　通常、成人１日7.5gを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

※※ **組成・性状**　本薬１日量（7.5g）中

日局ハンゲ	3.0g	日局チンピ	3.0g	日局ニンジン	1.5g	日局ショウキョウ	0.65g
日局ビャクジュツ	3.0g	日局ブクリョウ	3.0g	日局タクシャ	1.5g	日局テンマ	2.0g
日局ソウジュツ	3.0g	日局オウギ	1.5g	日局オウバク	1.0g	日局バクガ	2.0g

上記の混合生薬より抽出した半夏白朮天麻湯エキス粉末4,700㎎を含有する。
添加物として日局ステアリン酸マグネシウム、日局結晶セルロース、日局乳糖水和物、含水二酸化ケイ素を含有する。
淡黄色の細粒で、ほとんどにおいはないか、わずかに特異なにおいがあり、味は苦い。

使用上の注意

1. **重要な基本的注意**
 (1) 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
 (2) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。
2. **副作用**
 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

	頻度不明
過敏症[注1)]	発疹、蕁麻疹等

注1）このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

3. **高齢者への投与**
 一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。
4. **妊婦、産婦、授乳婦等への投与**
 妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。
5. **小児等への投与**
 小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]
6. **その他の注意**
 湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

取扱い上の注意　●貯　法：直射日光をさけ、吸湿注意。
開封後は密栓保存。
●使用期間：3年（使用期限は外箱・ラベルに表示）

包　装　●KB-37：3.75g×28包、3.75g×168包
●EK-37：2.5g×42包、2.5g×294包、500g

承認番号　21900AMX00647000　**承認年月日**　2007年3月15日

薬価収載　2007年7月　**販売開始**　2007年7月

製造販売元　大峰堂薬品工業株式会社
〒635-0051 奈良県大和高田市根成柿574

発売元　クラシエ薬品株式会社
〒108-8080 東京都港区海岸3-20-20

クラシエ 薬品株式会社　※［資料請求先］　〒108-8080 東京都港区海岸3-20-20
医薬学術部 Tel 03（5446）3352　Fax 03（5446）3371

医療用医薬品ウェブサイト 「漢・方・優・美」 http://www.kampoyubi.jp

■詳細は添付文書をご参照ください。使用上の注意の改訂に十分ご留意ください。

※※2013年10月改訂
※2010年7月改訂

ETHICON
PART OF THE Johnson&Johnson FAMILY OF COMPANIES

約19% Slimmer※

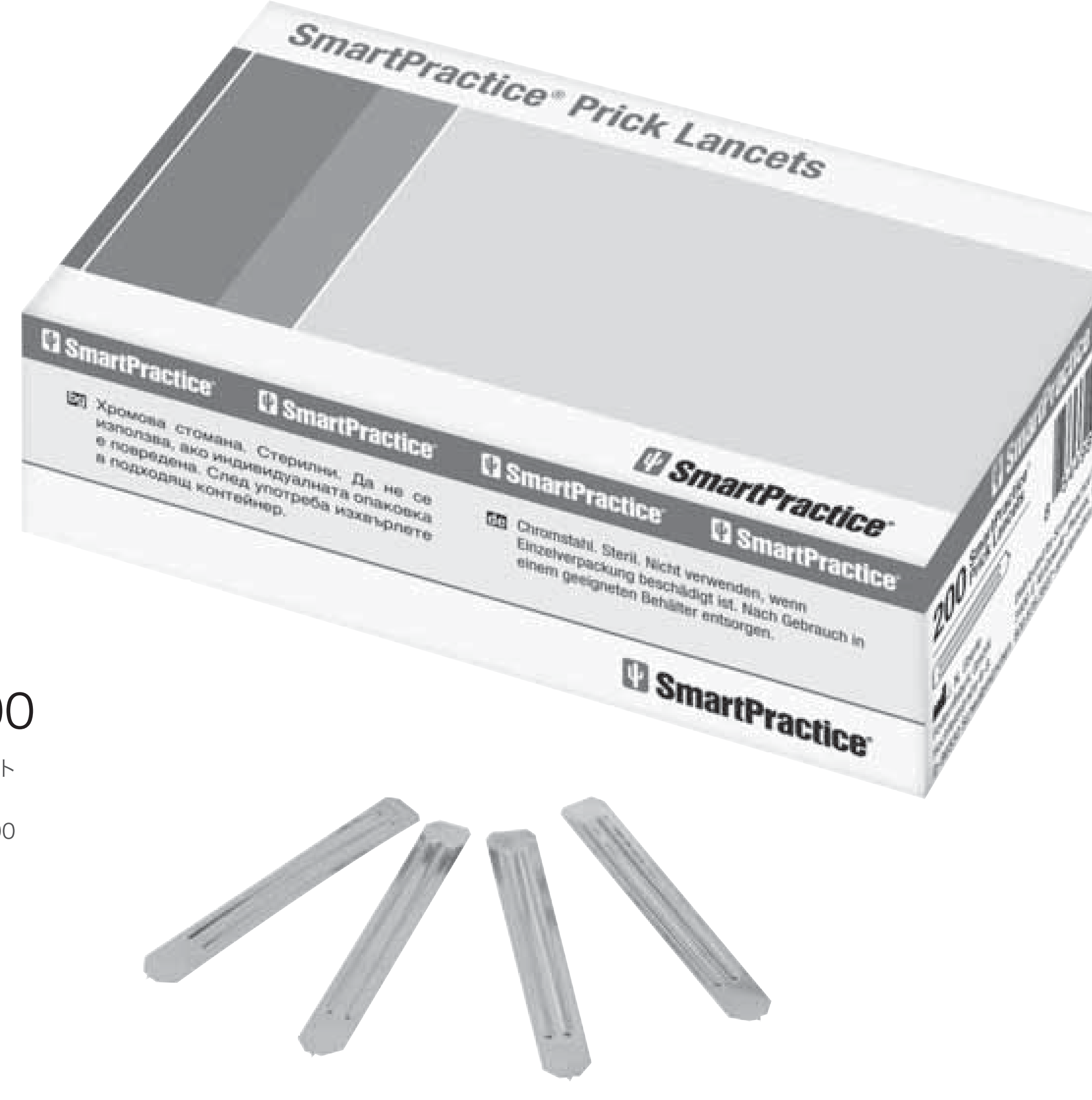
進化したFOCUS
HARMONIC FOCUS®+

※製造元試験データに基づく
製造販売元:ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカル カンパニー　〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号　TEL (03) 4411-7905
高度管理医療機器　販売名：ハーモニック　FOCUS　プラス 承認番号：22700BZX00411000　高度管理医療機器　販売名：ハーモニック　FOCUS　承認番号：22100BZX00832000
高度管理医療機器　販売名：ハーモニック　ブルーハンドピース　承認番号：22100BZX00831000
ETHC0309-01-201604　©J&JKK 2016

SmartPractice® プリックランセット

タイプ1（即時型）アレルギーテスト用　滅菌済プリックランセット

- プリックテスト用ランセット
- １箱：200本入り（個包装）
- 先端の長さ：0.9㎜
- 材質：ステンレス
- ガンマ線滅菌済
- 単回使用



製品番号：Z28300

販売名 SmartPractice® プリックランセット
一般的名称　単回使用注排用針
医療機器承認番号 22900BZX00377000

http://patchtest.jp

ご注文・サンプル（形状見本）のご請求・お問合せは

パッチテストのリーディングカンパニー
SmartPractice®
株式会社スマートプラクティスジャパン
〒242-0017 神奈川県大和市大和東2-2-13 アサヒヤマトビル2階

フリーコール 0120−22−3609
午前9時〜午後6時（土・日・祝日を除く）
FAX 0120−188−418
24時間受付対応

※記載商品の仕様・包装が予告なく変更する場合や商品写真の色彩等が現物と異なる場合があります。

〔製造販売元〕株式会社スマートプラクティスジャパン

抗悪性腫瘍剤　抗ヒトEGFR[注2] モノクローナル抗体
アービタックス®注射液100mg
セツキシマブ（遺伝子組換え）製剤
生物由来製品
劇薬
処方箋医薬品[注1]
注1）注意—医師等の処方箋により使用すること
注2）EGFR：Epidermal Growth Factor Receptor（上皮細胞増殖因子受容体）
ERBITUX®
CETUXIMAB
●効能又は効果、用法及び用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。
製造販売元
メルクセローノ株式会社
アービタックスおよびERBITUXはイムクロン エルエルシーの商標です。
2017年4月作成
ERBITUX®
CETUXIMAB
MERCK

gsk

私たちの使命は

「生きる喜びを、もっと Do more, feel better, live longer」

グラクソ・スミスクラインは、科学に根ざした
グローバルヘルスケア企業です。
「生きる喜びを、もっと」を使命に、世界中の
人々がより充実して心身ともに
健康で長生きできるよう、
生活の質の向上に全力
を尽くしていきます。

Do more,
feel better,
live longer

グラクソ・スミスクライン株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR
http://jp.gsk.com